

令和元年度  
事業概要

社会福祉法人かながわ共同会

厚木精華園



令和元年度事業概要を取りまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

令和元年度は、指定管理による施設運営の第二ステージの4年目となり、更なる「支援・介護・看護」による統合的なケア等の充実を目指しました。

当園のサービス利用者は、年度末現在で施設入所支援実人員 103 名、延 36,410 名・生活介護実人員 135 名、延 32,134 名・共同生活援助実人員 33 名、延 11,465 名・厚木身体障害者等生活介護実人員 32 名、延 2,887 名となりました。また、1 年間の新規契約者は 11 名、うち施設入所 7 名・生活介護 4 名となり、退所者は 9 名、うち死亡 4 名・療養型病院転院 5 名で、平均年齢は 66.5 歳となっています。

利用者の高齢化や重度化に寄り添う支援の充実のため、福祉機器導入にかかる国際福祉機器展等の研修受講等の支援力の向上や、高齢者支援セミナーのテーマを「高齢者を知り支援力をあげる」とし年間 11 回開催し、258 名の受講があり、高齢の知的障害者支援のノウハウの発信にも取り組みました。

地域連携では、荻野地区協定施設連絡会議に参画するなど防犯・防災活動における地域連携に取組み、地域ニーズに対応した応急手当普及員派遣や近隣の厚木市立荻野小学校 3 年生 50 名と利用者との交流会も実施しました。

在宅の障害者支援の一環として、短期入所延 911 名の受入れや、サービス等利用計画策定等の相談支援事業での相談支援利用延 1,881 件の受理や厚木市の障害支援区分認定調査・台風等災害時の災害弱者等の見守り訪問にも取り組みました。

最後に、令和 2 年度も引き続き、当園も同法人の運営施設として津久井やまゆり園の再生に取り組むとともに、よりきめ細やかな寄り添う支援の充実のために、今後ともご理解・ご協力をお願い申し上げます。

令和 2 年 6 月

園長 平嶺 一昭

## 令和元年度事業報告（かながわ共同会）

### 概要

令和元（2019）年度は、「第五期中期計画」（平成31（2019）年3月策定）の初年度であり、令和2（2020）年4月の「希望の丘はだの」の運営開始や令和3（2021）年度の津久井やまゆり園新施設の開所に向けて準備を進める重要な年度として位置づけられていた。

しかし、7月に愛名やまゆり園元園長の個人的な不祥事が発覚し、その後、逮捕、起訴されたことにより、園及び法人の信用は大きく失墜した。このため、急遽、中期計画にコンプライアンスの徹底に係る各種施策を追加し、信頼回復に向けて取り組んだ。

この不祥事を理由の一つとして、12月5日に知事は、津久井やまゆり園の指定管理者を公募にすると発言した。また、年明け1月に県は、津久井やまゆり園利用者支援検証委員会を設置した。

同じ1月に、愛名やまゆり園職員の行為が厚木市から虐待認定された。これは業務上の弁解の余地のない不祥事であり、元園長の逮捕に加え更に信頼を損う事態となった。

このように、法人創設以来、初めてとも言うべき法人の存亡を揺るがす状況が続いたが、県議会の関与もあり、3月になって知事が一定の条件のもと、令和3（2021）年度からの津久井やまゆり園の新施設の指定管理者をかながわ共同会とする方針を示したことで、ようやく年度内での決着を見た。

しかし、これら一連の事態は、利用者・ご家族、職員等に多大な不安を生じさせ、法人の業務執行にも大きな負担が生じたことは事実である。理事長はじめ幹部職員は、臨時の理事会・評議員会の開催や園長会議での検討、県との調整、利用者・ご家族、関係自治体等への報告と謝罪等に精力的に取り組んだ。

秦野精華園では、12月に新施設「希望の丘はだの」が完成し、その後、備品等の搬入や入所調整を行い、予定どおり令和2（2020）年4月に開所する運びとなった。特別支援学校等を訪問し、新規入所者の確保に努めたが、入所定員を充足するには至らなかった。

厚木精華園は、令和2（2020）年4月からの旧荻野公民館における相談支援の開始に向けて、厚木市、地域包括支援センターを運営する（福）敬和会と打合せを行った。また、法人後見の実施に向けて、厚生労働省と意見交換し、既に法人後見を行っている法人を視察した。

愛名やまゆり園は、元園長の逮捕と職員の虐待認定という不祥事が相次いだため、再発防止と信用回復が至上命題となっており、虐待事案については、こうした虐待を二度と起こさないよう、2月に愛名やまゆり園虐待事案検証委員会を設置し、事実確認と検証に取り組んだ。

津久井やまゆり園では、知事発言以降、職員は疲弊し、意思決定支援等の業務にも影響した。そうした中、入所者の地域移行を進めるため、令和2（2020）年4月からの新グループホーム「つくいこホーム」の開所に向けて準備を進めた。

令和2（2020）年1月に国内で感染者が確認された新型コロナウイルス感染症は、その後、感染が拡大した。このため、当法人においても、3月の各園の家族会を中止し、評議員会も決議の省略の方法により行った。

# I 園事業報告

## 1 園概況

### (1) 沿革

平成 6年	7月	神奈川県立厚木精華園として開設 定員:一般入所118名、短期入所2名 対象:中高齢で医療的ケアの必要な知的障害者 運営主体:社会福祉法人かながわ共同会
平成 7年	4月	厚木市障害者デイサービス(重心)事業受託、運営開始
平成 9年	6月	厚木精華園ゆめホーム事業(グループホーム)開設、運営開始
平成 18年	4月	地方自治法の規定により、厚木精華園を指定管理者として神奈川県が社会福祉法人かながわ共同会を指定
平成 20年	4月	新サービス事業体系へ移行(施設入所支援110名、短期入所2名、生活介護140名)
平成 21年	4月	厚木市身体障害者生活介護事業所受託、運営開始
平成 23年	2月	第三者評価受審(株式会社コモンズ21)
平成 23年	4月	厚木身体障害者等生活介護事業所を自主事業として運営開始
平成 26年	1月	厚木精華園相談支援事業所「ここから」開設
平成 26年	4月	指定障害者支援施設指定更新
平成 27年	10月	厚木市障害者相談支援等事業受託開始
平成 28年	4月	地方自治法の規定により、厚木精華園を指定管理者として神奈川県が社会福祉法人かながわ共同会を指定

### (2) 事業内容

(名)		(名)		
県指定管理事業		法人自主事業		
事業名	定員	事業所名	事業名	定員
施設入所支援	110	厚木精華園ゆめホーム	共同生活援助	37
生活介護	140	厚木身体障害者等生活介護事業所	生活介護	20
短期入所	2	厚木精華園相談支援事業所	特定	-

### (3) 利用者概況

了年齢

(歳)

	平均年齢	最年少	最年長
施設入所支援	65・0	42・0	90・0
生活介護	63・2	27・11	90・0
共同生活援助	65・9	35・6	86・6

### イ 障害支援区分

(名)

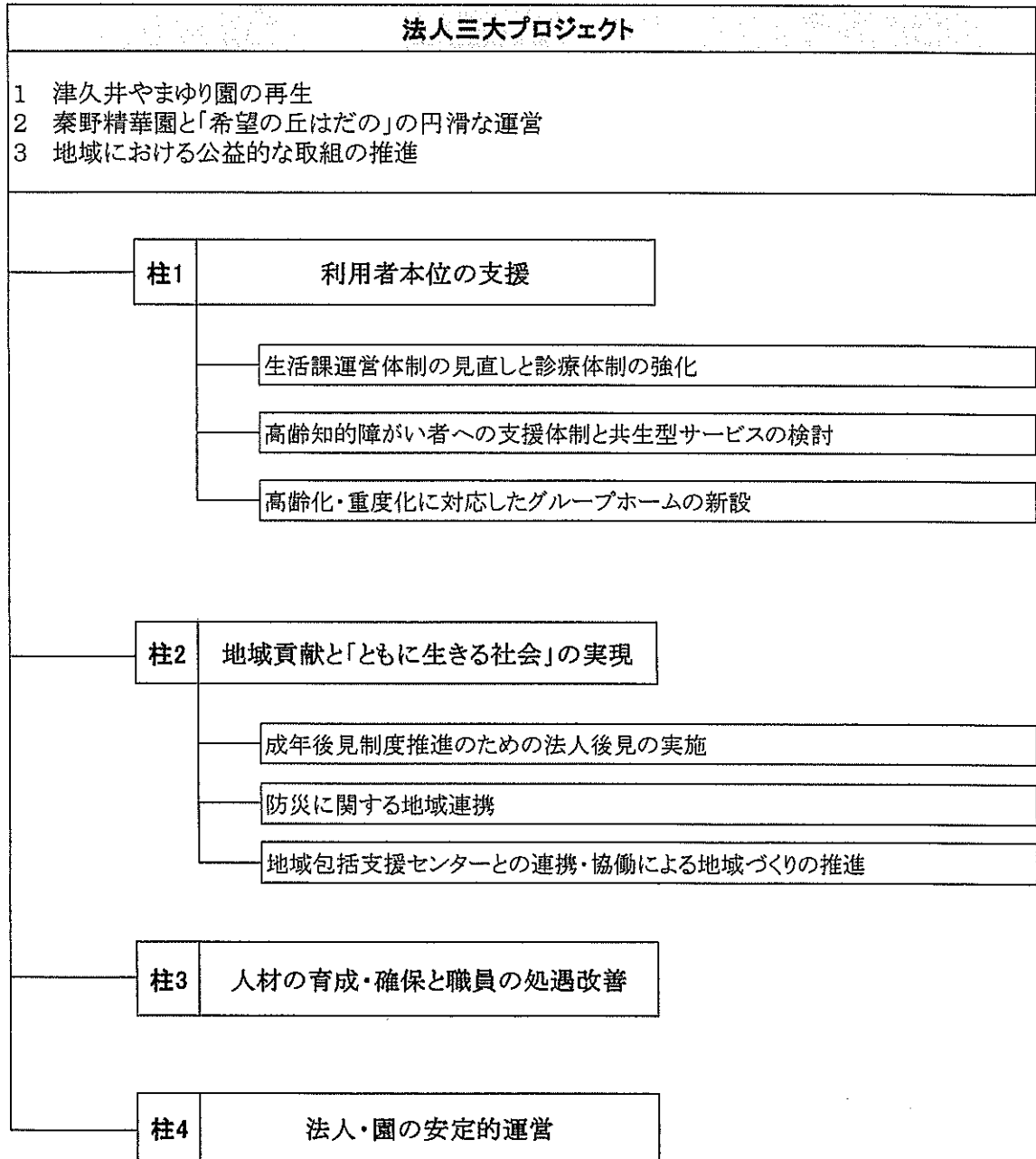
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
施設入所支援	59	29	13	2	0	0
生活介護	69	38	23	5	0	0
共同生活援助	1	10	16	4	2	0
合計	129	77	52	11	2	0

## 2 第5期中期計画

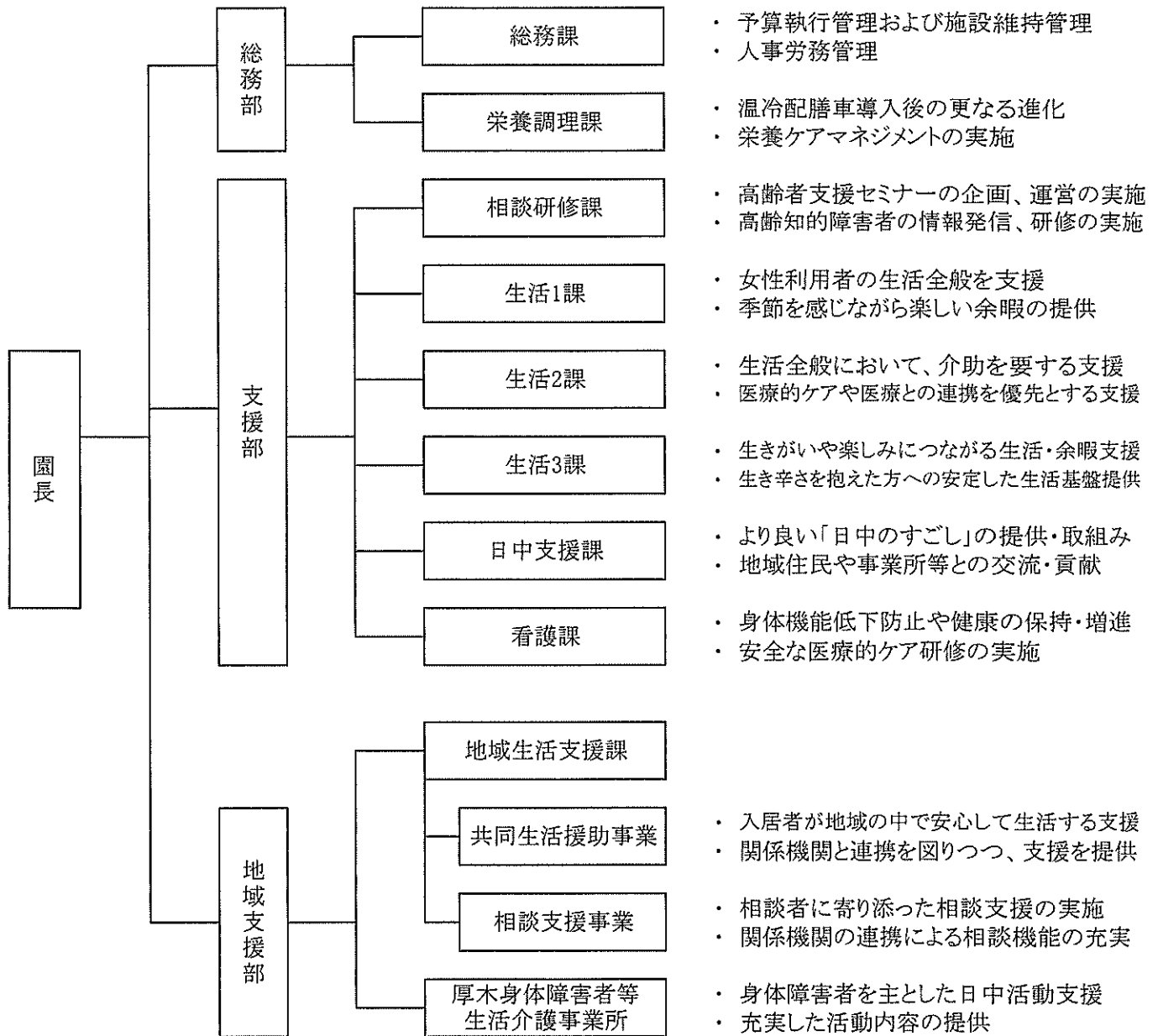
### (1) 施策の展開方向

「支援・介護・看護」による統合的ケアの更なる充実により、高齢知的障がい者福祉の65歳問題や中・高齢知的障がい者の地域生活移行等への具体的なサービス提供の構築を目指します。

また、中・高齢知的障がい者の地域生活を支えるため、障害福祉サービスに加えて介護保険サービスとも連携して多様なニーズに対応し、安心・安全に暮らせる共生社会の実現に取り組みます。



### 3 組織図



#### 4 会議・委員会等体制

会議等名	協議・検討内容	構成員
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園運営上の重要課題及び重点事項</li> <li>・園長の特命事項</li> <li>・その他必要事項</li> </ul>	園長 各部長 各課長
経営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の経営に関する事項</li> <li>・予算に関する事項</li> <li>・決算に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	園長 各部長 各課長 総務課職員
主任会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課間の調整に関する事項</li> <li>・運営会議の特命事項</li> <li>・成年後見制度の推進に関する事項</li> <li>・中長期計画の進行管理に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	各課主任 担当課長
全体職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園運営上の重要課題に関して職員全体の意見交換及び園内外の情報伝達に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	全職員
モニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者支援及び個別支援計画に関する事項</li> <li>・栄養ケアマネジメントに関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	サービス管理責任者 課長 主任 課員
課リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者支援に関する事項</li> <li>・グループ間の調整に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	サービス管理責任者 課長 主任 グループリーダー
課会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課運営の主要課題及び重要事項</li> <li>・課長の特命事項</li> <li>・諸会議報告</li> <li>・課全体の意見交換及び情報伝達</li> <li>・利用者支援(及び個別支援計画)に関する事項</li> <li>・地域生活支援課においてはゆめホーム事業、相談支援に関する事項</li> <li>・相談研修課においては相談事業に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	サービス管理責任者 担当課長 主任 課員
サービス利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所希望者の許諾・受入れに関する事項</li> <li>・退所希望者に関する事項</li> <li>・利用者サービス調整に関する事項</li> <li>・地域生活移行・定着に関する事項</li> <li>・相談支援に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	園長 各部長 各課長 ケースワーカー
行事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内行事(長寿の祝い/ラ・フェスタ/クリスマス会等)に関する事項</li> <li>・その他園内行事に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	課長
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働安全衛生法第18条に基づき職員の健康障害を防止するための基本対策に関する事項</li> <li>・交通安全に関する事項</li> <li>・その他必要事項</li> </ul>	衛生管理者 産業医 園長委嘱職員 労務委員職員



虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止のための体制作りに関する事項</li> <li>・虐待防止のチェックとモニタリングに関する事項</li> <li>・虐待発生後の対応と総括</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	園長 各部長 各課長 (管理者・サービス管理責任者)
人権委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の人権擁護に関する事項</li> <li>・第三者による点検活動の推進に関する事項</li> <li>・苦情解決に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
利用者自治会委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者自治会のサポートに関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
リスクマネジメント委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメントに関する事項</li> <li>・利用者の安全確保に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
防犯・防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する事項</li> <li>・災害対策に関する事項</li> <li>・防犯に関する事項</li> <li>・環境整備に関する事項</li> <li>・法人危機管理委員会に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修や派遣研修等の企画実施に関する事項</li> <li>・高齢者支援セミナーの事務局運営に関する事項</li> <li>・法人研修委員会との連携に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課長 担当課員
食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の食事に関する事項</li> <li>・食事に関する利用者支援全般に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
医療安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喀痰吸引等の実施について医療関係者との連携の下で安全確保体制を整備し、常時適切な喀痰吸引業務実施の推進に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	医師 園長 支援部長 看護課長 担当課員
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の健康管理に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 担当課長
情報ネットワーク委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報ネットワークの運営管理に関する事項</li> <li>・法人情報ネットワーク委員会との連携</li> <li>・ホームページの運用に関する事項</li> <li>・パソコン運用に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	総務部長 担当課員
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の健康管理に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	担当課員 看護課長
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木精華園の広報に関する事項</li> <li>・広報誌ベルデカーレ発行に関する事項</li> <li>・パンフレットの発行に関する事項</li> <li>・その他必要な事項</li> </ul>	総務部長 担当課員
夏まつり委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りの企画運営に関する事項</li> </ul>	担当課員 担当課長

長寿の祝い委員会	・長寿の祝いの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
ラ・フェスタ委員会	・ラフェスタの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
クリスマス委員会	・クリスマスの企画運営に関する事項	担当課員 担当課長
プロジェクトA	・園運営体制の見直しに関する事項 ・診療体制強化に関する事項	担当課員 担当課長
プロジェクトB	・共生型サービスに関する事項 ・日中サービス支援型グループホームに関する事項	担当課員 担当課長

## 5 重点施策の取組状況

### 柱1 利用者本位の支援

施策	評価	取組状況
①生活課運営体制の見直しと診療体制の強化	B	2ヶ月に1回のプロジェクト会議を開催。 利用者の機能低下、受診回数増加による職員不足等職員配置の課題が確認された。 機械浴設置場所や障害特性に応じた寮再編またはハード面整備が必要。ハード面での工夫については、令和2年度検討予定。
②高齢知的障がい者への支援体制と共生型サービスの検討	D	2ヶ月に1回のプロジェクト会議を開催。 高齢化による健康面や身体機能の低下、介護保険への移行や障害特性・年齢に応じた住まいの確保等課題として認識された。 令和2（2020）年度は共生型サービス導入の可能性を検討予定。
③高齢化・重度化に対応したグループホームの新設	B	2ヶ月に1回のプロジェクト会議を開催。 新たなグループホームにおける職員配置と日中サービス支援型グループホーム創設等を検討。職員配置を含む予算確保等課題山積であることを確認する。 （福）光友会の日中サービス支援型共同生活援助事業所を視察予定であったが、コロナウイルス感染予防のため令和2（2020）年度以降実施する予定。

### 柱2 地域貢献と「ともに生きる社会」の実現

施策	評価	取組状況
①成年後見制度推進のための法人後見の実施	A	法人プロジェクトを年3回開催。 令和元（2019）年10月2日、厚生労働省を訪問し、方向性が合致していることを確認した。 令和2（2020）年1月21日、法人後見を実施している（福）ぱれっとを訪問・視察。
②防災に関する地域連携	A	荻野地区協定施設連絡会を令和元（2019）年7月16日に開催。職員2名出席。 令和2（2020）年度「災害時等における要援護者の緊急受け入れに関する協定書」に基づく訓練実施に向け厚木市と調整していく。
③地域包括支援センターとの連携・協働による地域づくりの推進	A	令和2（2020）年4月1日開所に向け3月6日に引越し。厚木市・敬和会と建物改修工事内容、関係経費按分等協議4回、法人間において共同面接室の利用方法、共有部分の経費の在り方等協議を3回開催。

#### ○ 評価基準（法人事務局・各園共通）

評価	達成状況
A：事業計画どおり達成できた	100%以上
B：概ね達成できた	80%以上100%未満
C：あまり達成できていない	60%以上80%未満
D：達成できていない（未着手を除く）	60%未満
E：未着手	0%

## 6 運営実績

### 1 指定管理事業

#### (1) 実績

(名)

			上半期実績	下半期実績	年間実績
障害者支援施設	施設入所支援	定員	110	110	110
		延べ人数	18,372	18,038	36,410
	生活介護	定員	140	140	140
		延べ人数	16,299	15,835	32,134
短期入所		定員	2	2	2
		延べ人数	493	418	911
		稼働率	135%	114%	124%

※短期入所は空床型の実施を含む

#### (2) 障害支援区分

(名)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
施設入所	0	0	2	12	30	59	103
生活介護	0	0	5	23	38	69	135

#### (3) 日中一時支援事業 H30年度未廃止 (名)

区分		H30年度	R1年度
		延べ人数	延べ人数
児童	男性		
	女性		
	計		
成人	男性	0	
	女性	4	
	計	4	

### 2 自主事業

#### (1) グループホーム入居者 (7ヶ所)

(名)

区分	入居者数	平均年齢	1人あたり平均			日中活動			入所前		
			居室面積(㎡)	利用料(食費含月額)	収入(年金含月額)	園内通所	園外通所	就労	自施設	在宅	その他
男	18	63.2	6	60,621	84,104	8	12	0	6	8	4
女	15	69.2	6	63,741	73,996	11	7	0	6	4	5
計	33	66.0	6	62,083	79,050	19	19	0	12	12	9

※重複者あり

#### (2) 厚木身体障害者等生活介護事業所

(名)

生活介護	年度	H30年度	R1年度
	定員	20	20
	延べ人数	3,048	2,887

#### (3) サービス等利用計画作成

(件)

	H30年度	R1年度	厚木市	清川村	庵間市	秦野市	他市町村
件数	70	102	80	0	4	4	14

### 3 その他

#### (1) 障害者雇用

(名)

区分		H29年度	H30年度	R1年度
障害者雇用	男	1	1	1
	女	0	1	1
	計	1	2	2

#### (2) 実習生受入

(名)

区分	H30年度	R1年度
実人数	16	18

#### (3) ボランティア受入

(名)

区分	H30年度	R1年度
延べ人数	316	157

#### (4) 見学者受入

(名)

区分	H30年度	R1年度
延べ人数	347	127

#### (5) 養護学校実習生受入

(名)

区分	H30年度	R1年度
延べ人数	0	0

貸借対照表内訳表  
2020年3月31日現在

貸借対照表内訳表
2020年3月31日現在
勘定科目、厚木精華園拠点、厚木地区拠点、合計
流動資産、固定資産、流動負債、固定負債、負債の部合計、純資産の部合計

- 【厚木精華園 拠点区分】
・施設入所
・短期入所
・生活介護
・診療所

- 【厚木地区 拠点区分】
・共同生活援助

- ・厚木身体障害者等生活介護
・相談支援

資金収支内訳表

(自) 2019年4月1日 (至) 2020年3月31日

資金収支内訳表
勘定科目、厚木精華園拠点、厚木地区拠点、合計
事業活動による収支、施設整備等による収支、その他の活動による収支
当期資金収支差額合計(10)=(8)+(9)

事業活動内訳表

(自) 2019年4月1日 (至) 2020年3月31日

事業活動内訳表
勘定科目、厚木精華園拠点、厚木地区拠点、合計
サービス活動増減の部、サービス活動外増減の部、特別増減の部
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)

8 年間事業取組状況

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1日(月)	辞令交付 対面式 防火装置説明	1日(水)	即位の日・開所日 総務主任	1日(土)		1日(月)		1日(木)		1日(日)	
2日(火)	新採用・異動職員研修① 部課長会	2日(木)	開所日 総務主任	2日(日)		2日(火)	部課長会	2日(金)		2日(月)	
3日(水)		3日(金)	憲法記念日	3日(月)		3日(水)	健康・医療安全委員会	3日(土)	各課利用者自治会GH・開所日 生活1課長	3日(火)	部課長会 前日準備
4日(木)		4日(土)	みどりの日	4日(火)	部課長会 桑原Dr面談日	4日(木)	普通救命講習会①	4日(日)		4日(水)	長寿の祝い
5日(金)	健康・医療安全委員会	5日(日)	こどもの日	5日(水)	夏まつり委員会①	5日(金)	利用者自治会委員会	5日(月)	ノー残業ウィーク 健康・医療安全委員会	5日(木)	健康・医療安全委員会
6日(土)		6日(月)	振替休日	6日(木)	職員健康診断③ 健康・医療安全委員会	6日(土)		6日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	6日(金)	ラ・フェスタ委員会②
7日(日)		7日(火)	監事監査 部課長会	7日(金)	人権委員会	7日(日)		7日(水)	人権委員会	7日(土)	
8日(月)	ノー残業ウィーク 行事担当者会議AM 人権委員会	8日(水)	監事監査	8日(土)	各課利用者自治会GH・開所日 支援部長	8日(月)	ノー残業ウィーク 広報情報ネットワーク委員会	8日(木)	広報情報ネットワーク委員会	8日(日)	
9日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	9日(木)	健康・医療安全委員会	9日(日)		9日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	9日(金)	長寿の祝い準備委員会①	9日(月)	ノー残業ウィーク
10日(水)	広報情報ネットワーク委員会	10日(金)	ふれあいフェス準備 利用者自治会委員会	10日(月)	ノー残業ウィーク	10日(水)	関プロ神奈川大会 ラ・フェスタ委員会①	10日(土)		10日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議
11日(木)	開園記念プロジェクト	11日(土)	ふれあいフェス・GH開所日 各課利用者自治会	11日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	11日(木)	関プロ神奈川大会 プロジェクトB	11日(日)	山の日	11日(水)	25周年記念講演会
12日(金)	衛生委員会	12日(日)		12日(木)	25周年記念コンサート	12日(金)	衛生委員会	12日(月)	振替休日	12日(木)	利用者自治会委員会
13日(土)	各課利用者自治会	13日(月)	ノー残業ウィーク	13日(木)	衛生委員会	13日(土)	各課利用者自治会GH・開所日 地域支援部長	13日(火)		13日(金)	衛生委員会
14日(日)	厚木市民吹奏楽団演奏会	14日(火)	ノー残業ディ・AM開所・サービス利用 PM運営会議	14日(金)		14日(日)		14日(水)		14日(土)	各課利用者自治会GH・開所日 生活2課長
15日(月)	ふれあいフェス実行委員会 プロジェクトA	15日(水)	食事委員会 高齢者支援セミナー	15日(土)	家族会	15日(月)	海の日	15日(木)		15日(日)	
16日(火)	後援会役員会PM	16日(木)	衛生委員会	16日(日)		16日(火)	新採・異動職員フォローアップ①	16日(金)		16日(月)	敬老の日
17日(水)	食事委員会 高齢者支援セミナー	17日(金)	広報情報ネットワーク委員会	17日(月)	総務部長	17日(水)	食事委員会 高齢者支援セミナー	17日(土)		17日(火)	プロジェクトB
18日(木)	主任会議	18日(土)	家族会総会	18日(火)		18日(木)	普通救命講習会②	18日(日)	福祉の広場	18日(水)	食事委員会 高齢者支援セミナー
19日(金)	防災訓練・危機管理委員会	19日(日)		19日(木)	食事委員会 高齢研役員会 高齢者支援セミナー	19日(金)	全課緊急時対応訓練 開園記念プロジェクト	19日(月)		19日(木)	ラ・フェスタ委員会③
20日(土)	家族会・第三者委員	20日(月)	地域支援部長	20日(木)	プロジェクトA	20日(土)		20日(火)	衛生委員会	20日(金)	防災訓練・危機管理委員会
21日(日)		21日(火)	非常勤研修①AM	21日(金)	主任会議	21日(日)		21日(水)	食事委員会 高齢者支援セミナー	21日(土)	人権フォーラム21 各課行事
22日(月)	支援部長	22日(水)	職員健康診断① 開園記念プロジェクト Aネット総会	22日(土)		22日(月)	防災訓練・危機管理委員会	22日(木)	プロジェクトA	22日(日)	
23日(火)	ノー残業ディ 運営会議	23日(木)	非常勤研修②AM 防災訓練・危機管理委員会	23日(日)		23日(火)	ノー残業ディ・AM運営会議 前日準備	23日(金)	主任会議	23日(月)	秋分の日
24日(水)	生活介護利用者懇談会	24日(金)	プロジェクトB	24日(月)	防災訓練・危機管理委員会	24日(水)	夏まつり2019	24日(土)	家族会	24日(火)	ノー残業ディ 運営会議
25日(木)	生活課会議	25日(土)		25日(火)	ノー残業ディ・AM経営会議 運営会議	25日(木)	日中支援課会議	25日(日)		25日(水)	広報情報ネットワーク委員会
26日(金)	環境美化 職員会議・日中支援課会議	26日(日)		26日(木)	デザートテラス	26日(金)	環境美化 特別研修・職員会議 生活課会議	26日(月)	総務部長 胸部レントゲン	26日(木)	日中支援課会議
27日(土)		27日(月)	非常勤研修③PM	27日(木)	生活課会議	27日(土)	家族会(墓参り)	27日(火)	ノー残業ディ 運営会議	27日(金)	AM避難訓練・炊き出し 環境美化 特別研修・職員会議・生活課会議
28日(日)		28日(火)	ノー残業ディ 運営会議	28日(金)	環境美化・日中支援課会議	28日(日)		28日(水)	防災訓練・危機管理委員会	28日(土)	家族会
29日(月)	昭和の日	29日(水)	地域交流レクDAY	29日(土)		29日(月)	支援部長	29日(木)	生活課会議	29日(日)	
30日(火)	退位の日・開所日 総務部長	30日(木)	日中支援課会議	30日(日)		30日(火)		30日(金)	浸水避難訓練・職員交流会 環境美化・日中支援課会議	30日(月)	地域支援部長
		31日(金)	職員健康診断② 特別研修・職員会議 生活課会議			31日(水)		31日(土)			

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1日(火)	部課長会	1日(金)		1日(日)		1日(水)	元旦	1日(土)		1日(日)	
2日(水)		2日(土)		2日(月)		2日(木)		2日(日)		2日(月)	
3日(木)	ラ・フェスタ委員会④	3日(日)	文化の日	3日(火)		3日(金)		3日(月)		3日(火)	部課長会
4日(金)	前日準備	4日(月)	振替休日	4日(水)	健康・医療安全委員会	4日(土)	各課行事	4日(火)	生活介護利用者懇談会 部課長会	4日(水)	
5日(土)	ラ・フェスタ、第三者委員 厚木市障害者体育大会	5日(火)	部課長会	5日(木)	人権委員会	5日(日)		5日(水)	デザートテラス	5日(木)	健康・医療安全委員会
6日(日)		6日(水)	健康・医療安全委員会	6日(金)	部課長会 広報情報ネットワーク委員会	6日(月)	仕事始め ノー残業ウィーク	6日(木)	健康・医療安全委員会	6日(金)	利用者自治会委員会
7日(月)	ノー残業ウィーク	7日(木)	利用者自治会委員会	7日(土)	各課利用者自治会GH・開所日 地域支援部長 とまとクリスマス会	7日(火)		7日(金)		7日(土)	Aネットセミナー 各課利用者自治会GH・開所日 総務部長
8日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	8日(金)	広報情報ネットワーク委員会	8日(日)		8日(水)		8日(月)	各課利用者自治会GH・開所日 総務課主任	8日(日)	
9日(水)	健康・医療安全委員会	9日(土)	各課利用者自治会GH・開所日 生活3課長	9日(月)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	9日(木)		9日(火)		9日(月)	ノー残業ウィーク 広報情報ネットワーク委員会
10日(木)		10日(日)		10日(火)	前日準備	10日(金)	各課新年会 利用者自治会委員会	10日(水)	ノー残業ウィーク 人権委員会	10日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議
11日(金)	人権委員会	11日(月)	ノー残業ウィーク クリスマス委員会①	11日(水)	クリスマス会	11日(土)	各課行事	11日(木)	建国記念日	11日(水)	衛生委員会
12日(土)	各課利用者自治会	12日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	12日(木)	衛生委員会	12日(日)		12日(月)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	12日(木)	プロジェクトB
13日(日)		13日(水)	デザートテラス	13日(金)	年末懇親会 主任会	13日(月)	成人の日	13日(火)	衛生委員会	13日(金)	後援会役員会PM
14日(月)	体育の日	14日(木)	衛生委員会	14日(土)	各課行事	14日(火)	ノー残業ディ・サービス利用 PM虐待防止・運営会議	14日(水)	広報情報ネットワーク委員会	14日(土)	家族会
15日(火)	ノー残業ディ 運営会議二	15日(金)	プロジェクトB	15日(日)		15日(水)	健康・医療安全委員会 高齢者支援セミナー	15日(土)	家族会	15日(日)	
16日(水)	食事委員会 高齢者支援セミナー	16日(土)	家族会	16日(月)	行事委員会②AM 生活課会議	16日(木)	食事委員会	16日(日)		16日(月)	支援部長
17日(木)	衛生委員会	17日(日)		17日(火)	環境美化・日中支援課会議	17日(金)	広報情報ネットワーク委員会	17日(水)	総務部長	17日(火)	非常勤契約日AM ボランティア懇談会
18日(金)	主任会	18日(月)	総務部長	18日(水)	食事委員会 高齢者支援セミナー	18日(土)	家族会	18日(木)	プロジェクトA	18日(水)	食事委員会 高齢研・高齢者支援セミナー
19日(土)	家族会	19日(火)	ラ・フェスタ委員会反省会	19日(木)	プロジェクトA	19日(日)		19日(火)	食事委員会 高齢者支援セミナー	19日(木)	主任会議
20日(日)		20日(水)	食事委員会 高齢研役員会 高齢者支援セミナー	20日(金)	防災訓練・危機管理委員会	20日(月)	地域支援部長	20日(水)	主任会議	20日(金)	春分の日 とまとお別れ会
21日(月)	支援部長	21日(木)	職員健康診断①	21日(土)	家族会	21日(火)	衛生委員会	21日(金)	防災訓練・危機管理委員会	21日(土)	
22日(火)	即位礼正殿の儀	22日(金)	非常勤研修	22日(日)		22日(水)	プロジェクトB	22日(土)	各課行事	22日(日)	
23日(水)		23日(土)	勤労感謝の日	23日(月)	平成の天皇誕生日	23日(木)	防災訓練・危機管理委員会	23日(日)	天皇誕生日	23日(月)	
24日(木)	地域交流レクティ	24日(日)		24日(火)	支援部長	24日(金)	全課緊急時対応訓練	24日(水)	振替休日	24日(火)	ノー残業ディ 経営会議(AM) 運営会議
25日(金)	プロジェクトA	25日(月)	防災訓練・危機管理委員会	25日(水)	ノー残業ディ 運営会議	25日(土)	各課利用者自治会GH・開所日 総務課主任	25日(木)	ノー残業ディ 運営会議	25日(水)	非常勤契約日PM 防災訓練・危機管理委員会
26日(土)		26日(火)	ノー残業ディ、AM経営会議 PM運営会議	26日(木)		26日(日)		26日(火)	地区別運営協議会	26日(木)	日中支援課会議
27日(日)		27日(水)		27日(金)	餅つき大会 仕事納め	27日(月)		27日(水)	生活課会議	27日(金)	職員会議 生活課会議・環境美化
28日(月)	夜間想定、放水訓練 防災訓練・危機管理委員会	28日(木)	日中支援課会議	28日(土)		28日(火)	ノー残業ディ 運営会議	28日(日)	環境美化・日中支援課会議	28日(土)	
29日(火)	ノー残業ディ 運営会議	29日(金)	職員健康診断② 環境美化 特別研修・職員会議・生活課会議	29日(日)		29日(水)		29日(土)		29日(日)	
30日(水)	環境美化・生活課会議	30日(土)		30日(月)		30日(木)	日中支援課会議			30日(月)	
31日(木)	日中支援課会議			31日(火)		31日(金)	特別研修・職員会議 生活課会議・環境美化			31日(火)	

9 会議・委員会等取組結果

会議等名	取組内容／結果	備考
運営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園運営上の課題を管理職で月2回検討した。</li> <li>・法人諸会議、各課、各委員会報告を行い必要事項を確認した。</li> </ul>	
経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算並びに施設維持管理、加算状況を共有化し、効率的な予算執行に努める。</li> <li>・年間3回会議を開催した。</li> </ul>	
主任会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画の進行管理に努める。</li> <li>・成年後見人の進捗、情報管理に努める。</li> </ul>	
全体職員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全体への周知、連絡事項を確認した。</li> <li>・園長からの職員に対しての伝達をした。</li> </ul>	
課リーダー会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課、課長、主任、グループリーダーで課運営に関する事項やグループ会議での連絡事項等を確認した。</li> </ul>	
モニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者個々の支援について確認、検討をした。</li> <li>・個別支援計画、身体拘束の確認、検討をした。</li> <li>・栄養ケアマネジメントに関して確認、検討をした。</li> </ul>	
課会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課運営に関して確認、検討をした。</li> <li>・利用者支援に関して確認、検討をした。</li> </ul>	
サービス利用調整会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所希望者の受入れについて確認、検討をした。</li> <li>・利用者のサービスに関して、確認、検討をした。</li> </ul>	
行事担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に園内行事に関して確認・検討をした。</li> <li>・全行事終了後に評価を実施。次年度に向けての園内行事に関して確認・検討し、クリスマス会を各課行事とした。</li> </ul>	
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働環境、健康に関して、確認、検討をした。</li> <li>・交通安全に関する研修、腰痛予防に関する研修、メンタルヘルス研修を開催をした。</li> <li>・感染症に関する情報交換を行った。</li> </ul>	
虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課虐待防止の対策、支援の振り返りを報告をした。</li> <li>・虐待防止について情報共有を行い防止に努めた。</li> </ul>	
人権委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権目標を2ヶ月間設定し各課で振り返りを実施した。</li> <li>・人権自己チェックリスト、利用者満足度調査を実施した。</li> </ul>	
利用者自治会委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、各課で利用者自治会を実施した。</li> <li>・利用者自治会主催の園行事を開催した。</li> </ul>	



リスクマネジメント委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひやりはっと報告の分析し共有化をはかり防止策に努めた。</li> <li>・環境整備、危険個所の点検を実施した。</li> </ul>	
防犯・防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、避難訓練を実施した。</li> <li>・防犯、災害に関して、確認、検討をした。</li> <li>・環境整備、備品の管理をした。</li> </ul>	
研修委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修を企画、実施した。</li> <li>・高齢者支援セミナーの企画、運営を実施した。</li> <li>・法人研修委員会と連携した取り組みを実施した。</li> </ul>	
食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の食事に関して、確認、検討をした。</li> <li>・栄養ケアマネジメントの実施。</li> <li>・食事提供、マナー等に関して、確認、検討した。</li> </ul>	
医療安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喀痰吸引等の研修は制度に基づいて実施した。</li> <li>・園内での手技の見直しや医療ひやりはっと報告を確認、検討した。</li> </ul>	
健康委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に沿って利用者の健康目標に取り組みの確認、検討した。</li> <li>・利用者緊急時対応訓練を全課協力して取り組んだ。</li> <li>・医師による感染症の講義とノロ発生時の対応訓練を行った。</li> </ul>	
情報ネットワーク委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報ネットワークに関して、確認、検討した。</li> <li>・パソコン環境確認を実施した。</li> <li>・毎月、ホームページを更新した。</li> </ul>	
広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌ベルデカーレの発行を実施した。</li> <li>・パンフレットの一部修正を行った。</li> </ul>	
夏まつり委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏まつりの企画、運営を行った。</li> </ul>	
長寿の祝い委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿の祝いの企画、運営を行った。</li> </ul>	
ラ・フェスタ委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラ・フェスタの企画、運営を行ない、地域に開かれた行事として実施した。</li> </ul>	
クリスマス委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス会の企画、運営を行った。</li> </ul>	
プロジェクトA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園運営体制と診療体制についての課題を抽出し、見直しについて検討した。</li> </ul>	
プロジェクトB	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生型サービスと日中サービス支援型グループホームの可能性について検討した。</li> </ul>	

10 各課年度重点目標／取組結果

課名	年度重点目標／取組結果
総務課	<p>・指定管理施設として柔軟な運用に努め、利用者が安心・安全に暮らせるように施設並びに設備の効率的な維持管理を行います。 ⇒計画的に備品更新並びに改修等に取り組めました。</p> <p>・障害者総合支援法に基づく園の運営にあたり、関係機関等との調整を図るなど事務の円滑な推進を図ります。 ⇒各関係機関と連携し事務手続等を行いました。</p> <p>・障害福祉サービス等報酬改定の対応に努めます。 ⇒新たに創設された特定処遇改善加算算定研修に参加しました。</p>
栄養調理課	<p>・高齢者への優しい食事『ロドけ食』の更なる改善と献立、調理方法の改善に努めます。 ⇒献立に合わせて新しいゲル材を使用し更なる改善に取り組みました。</p> <p>・温冷配膳車導入後の振り返りと更なる進化に努めます。 ⇒乾燥を防ぐ為に蓋をしたり、より良い状態で食べて頂ける様努力しました。</p> <p>・栄養ケアマネジメント実施で個々の利用者に適した食事提供に努めます。 ⇒食事委員会の中で、定期的にリスクを判定、確認し栄養状態の改善の為、多職種で情報を共有し健康維持に努めました。</p>
相談研修課	<p>・高齢知的障害者についての情報発信に繋げるため、高齢者支援セミナーの研修企画、立案により高齢知的障害者支援のノウハウの普及と啓発に努めます。 ⇒「高齢者支援セミナー」の毎月開催(R2.3月除)や外部発表を行い情報発信に努めました。</p> <p>・将来の福祉の担い手として、社会福祉士養成実習を自はじめとした福祉教育実習を受入、福祉人材の育成に努めます。あわせて質の向上を目指します。 ⇒各種養成校からの実習や職場体験実習を受け入れ福祉人材の育成につながるよう努めました。</p> <p>・高齢知的障害者の支援と介護技術向上のための研修を企画し、高齢知的障害者に特化したサービスの質の向上を目指します。また生活の質の向上を目的に社会資源の活用をします。 ⇒実践で活かせる内容を意識して研修を企画し、支援の質の向上に努めました。</p> <p>・障害者ケアマネジメント手法を用いて、聞き取りからアセスメントの整理により導き出されたニーズに対して、関係機関と連携しながら適切なサービスを提供します。施設利用窓口として多様なニーズを抱えた利用者の相談に応え、在宅支援の充実に努めます。 ⇒施設等からのサービス利用に関する移行支援の相談、虐待等の相談についてニーズや状況を伺い適切な調整に努めました。</p> <p>・個人及び各種団体等の見学を積極的に受入、高齢知的障害者の支援や障害福祉への理解に繋がります。 ⇒外部からの見学希望を積極的に受入、高齢者への支援のあり方についてノウハウを伝える、食事については食事形態や作り方などレクチャーを行いました。</p>
生活1課	<p>ア)利用者一人一人が安心、安全に暮らせる環境整備に努めます。 ⇒寮内清掃を意識して行うように努めてきましたが、十分な環境整備には至らず今後も継続して取り組みました。また、移乗の際に危険がないように2名体制で行うことも増え 寮内の配置職員数について時間により対応しやすいよう取り組みました。</p> <p>イ)ひやりはっと報告や事故報告の検証をもとに支援の振り返りを行い職員の意識向上に努めます ⇒課会議の中で報告の内容を確認し意見交換することで繰り返さないことの意識付けを行いました。利用者自治会、余暇などの時間を利用して、利用者意見を聞くよう努めました。</p> <p>転倒の危険がある方には見守りを強化し 付き添うように支援してきました。継続して取り組みます。</p> <p>ウ)個々のニーズに合わせた楽しみ方を工夫して提供します。 ⇒寮内の装飾で季節を感じ、園内散歩で日常の笑顔を写真に残しました。個々の要望に合わせた外出や出前を取って食事の機会を増やし、職員との時間を楽しく過ごしました。</p> <p>エ)日々の変化や気づきを記録に残し的確な情報伝達ができるよう知識を身につけます。 ⇒日々の様子から判断し、移行の時期を考えることが多くあり 看護課との連携や情報の共有は今後も継続した課題としていきます。</p>

生活2課	<p>ア) 支援の振り返りや見直しを定期的に行い、虐待防止や人権擁護、意識決定支援について意識の向上や理解を深めます。 ⇒意思決定支援を実施している利用者への支援経験を活かし、他ケースの意思やニーズの確認を深めました。虐待防止について課会議で月1で実施。人権擁護に対し深く考え、振り返る事もできました。</p> <p>イ) 高齢利用者が安心・安全な暮らしができるよう環境整備に取り組み、危険予知力を高め、事故防止に努めます。 ⇒事故が起きてからの対応になり、原因不明の事故が多い。入浴は、マルチ浴の方が安全であるとの結論に至りました。</p> <p>ウ) 余暇の充実を図る為、個々の楽しみやニーズを細かくアセスメントし、記録に残していきます。 ⇒ニーズに関する記録が内容的に十分ではなかった。記録の内容について改善していきます。</p> <p>エ) 知識の習得及び技術、観察力や気づきの更なる向上を図り、新たな支援やより良い支援に繋がっていきます。 ⇒事故等物事が起きてから動くのではなく、危険予知として原因・分析を事前に行えると良かった。記録、個別支援計画の内容向上に向けて、研修等を実施したい。</p> <p>オ) 利用者個々の既往歴の把握や情報収集によって疾病の早期発見や治療に繋がります。 ⇒早期発見に努めたことで救急搬送は減った。次年度は、新たに情報を得た疾病について理解を深めていきます。</p>
生活3課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化する利用者の状態把握(歩行状態含む)と健康上のニーズに応じた支援の充実に努めます。 ⇒日頃のバイタルチェックの積み重ねから、早期の体調不良や変化に対応しました。</li> <li>・「生きがい」や「楽しみ」を感じられる場の提供に努めます。 ⇒ニーズに応じた日帰り・一泊旅行を提供し、生きがい及び楽しみを実感して頂きました。</li> <li>・主に転倒リスクの情報共有と記録分析に注力し、必要に応じて即応しつつ予防に努めます。 ⇒、年末年始にかけて相次いだ転倒事故を教訓に、改めてヒヤリハット報告の重要性を再認識し、危険予知力を高め、再発防止に努めました。</li> <li>・生き辛さを抱えた方々の安定した生活基盤を築きながら、支援技術の向上を目指します。 ⇒各利用者の経済基盤に即したサービスを提供し、意思決定支援を重視した支援に取り組みました。</li> <li>・新体制に於いて、サービスの質や安全性の向上を図りつつ、安定した業務体制の確立を利用者ニーズに合わせた形で実現します。 ⇒事故検証委員会の意見を参考に、業務に準じて職員の配置を検討、変更しました。新規利用者の受け入れを行い、課の定員を維持しました。</li> </ul>
日中支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日中の過ごし」について活動や余暇等、園全体を意識して取り組んでいきます。 ⇒自主製品については取組めませんでしたが、プログラムの見直し等適宜実施し、利用者が満足できるよう活動内容を検討しながら、理学療法士のアドバイスのもと、機能維持を中心に取組みました。</li> <li>・地域との関わりを意識し、地域住民・近隣の事業所等との交流・貢献を図ります。 ⇒施設連絡会等の行事や地域コンサートへの参画、荻野小学校の生徒との交流を図りました。</li> <li>・課体制の改善及び職員の人権意識の向上・支援のスキルアップを目指します。 ⇒毎月の会議を通して支援・業務内容の見直しや効率化を図りつつ、専門知識・技術、人権・権利擁護について意識の向上、虐待防止の取組みに努めました。</li> </ul>
看護課	<p>ア) 一人ひとりが充実した日常生活が送れるよう各セクションと連携し健康状態の把握を行います。 ⇒定期健診や診療所内外での臨時受診を行い利用者の健康管理に努めました。</p> <p>イ) 褥瘡や骨折等防止のため職員に助言を行いながら介護技術の向上に努めます。 ⇒皮膚の観察、体位変化、除圧の方法等情報を共有し改善に努めました。</p> <p>ウ) 安全な医療的ケア研修実施が行えるよう感染予防や事故防止のため清潔な環境・手洗い等の普及に努めます。 ⇒年間計画に沿って手技の見直し・手洗い・座学の振り返りなど行い職員一人ひとりが振り返り確認することに取組みました。また基礎研修からの受講職員については、生活課と調整を研修申請・実施しました。</p> <p>エ) 協力医療機関との連携を基本に近隣病院との連携に努めます。 ⇒病状や利用者の特性によって医療機関を受診しました。</p>

<p>地域生活支援課</p> <p>グループホーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の地域生活を支える体制作りをしていきます。</li> <li>⇒外部資源と連携を密にし余暇の充実を図るとともに地元自治会活動に積極的に参加しました。</li> <li>・入居者本位の支援を推進していきます。</li> <li>⇒成年後見人選任1名、特別養護老人ホーム以降1名。</li> <li>・支援者のスキルアップをしていきます。</li> <li>⇒世話人研修、緊急時対応訓練、非常勤研修を実施しました。</li> <li>・安定経営を目指します。</li> <li>⇒体験利用随時受け、1名の入居がありました。</li> </ul>
<p>相談支援事業所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者本位の「寄り添う」相談支援をしていきます。</li> <li>⇒傾聴を基本とし、様々な角度からの分析に努め、より良い支援に繋げました。</li> <li>・相談支援専門員の資質向上を目指します。</li> <li>⇒強度行動障害支援者養成研修(実践研修)、医療的ケア児等コーディネーター養成研修、精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修を受講しました。</li> <li>・他職種・他事業所との協働をしていきます。</li> <li>⇒地域包括ケア社会実現の一環として地域包括支援センターと共同で事務所を構えました。</li> </ul>
<p>厚木身体障害者等生活介護事業所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者支援の充実に努めます。</li> <li>⇒利用者及び家族の介助負担のニーズに応え、土曜祝祭日の営業を実施しました。</li> <li>・権利擁護・虐待防止への取組みの推進に努めます。</li> <li>⇒年に2回満足度アンケートを実施し、結果を受けて見直し、より丁寧な支援を心掛けました。</li> <li>・スキルアップへの取組みに努めます。</li> <li>⇒厚木市の医療的ケア待機者の受け入れ先を確保していくため、医療的ケアを受け入れをしていくためのシミュレーションを行い、来年度は医療的ケアの準備を行い、再来年度に医療的ケアの利用者を受け入れていく方向性を示しました。</li> </ul>

## 11 人権・権利擁護

### (1) 取組内容

#### ア 人権委員会

##### (ア) 目的

権利擁護に関する諸活動を行なうことにより、利用者固有の尊厳を尊重することを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・2か月ごとに 人権・権利擁護目標を設定し周知徹底の後、振り返り及び効果の検証をした。
- ・オンブズマン相談会の運営に協力し、利用者の意見や要望を多くくみ取れるように尽力した。
- ・ご家族含め満足度調査を実施し、集計及び精査をし、開示及び支援に活かすようにした。
- ・人権意識向上につながるよう、委員会主催の人権擁護研修を開催した。

#### イ 虐待防止委員会

##### (ア) 目的

虐待防止に係る体制作り、チェックとモニタリング、虐待(不適切な対応事例)発生後の対応及び再発防止を図ることを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・各課、課会議にて虐待防止の振り返りを議論し取組みを虐待防止委員会に報告し虐待防止、意識の向上に努めた。
- ・オンブズマン相談会を毎月実施し利用者からの声を直接聞いてもらうように努めた。
- ・人権チェックリストを各自実施し人権擁護、虐待防止に努めた。

#### ウ 利用者自治会委員会

##### (ア) 目的

会員相互の親睦融和を図りながら、生活をより豊かなものへとする為に、様々な行事を企画します。また、会員の要望に基づき園に対して意見具申等を行うことを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・各課自治会(ひまわり会)を月に1回開催し、利用者からの意見を多くくみ取れるように配慮した。
- ・役員を中心に園内行事の役割(司会等)を担ってもらい、利用者が主役の行事になった。
- ・自治会を通じ、利用者からのニーズに応じ、訪問販売(衣類)やコンサートを実現した。

### (2) 苦情・要望報告

(件)

	苦情・要望内容区分					合計
	職員接遇	サービス内容	施設・整備	被害・損害	その他	
申出人	利用者本人					
	家族					
	その他			1		1
	計			1		1

(3) 人権・権利擁護目標・効果

月間目標		効果
4月	「ちょっとまって」 その言葉こそ、ちょっとまって	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待ってもらうときは理由を説明した。</li> <li>・具体的な目安を示すようにした。</li> <li>・意識をして支援した、自分が想像以上に口に出していることに気づけた。</li> <li>・話し方、言葉使いに注意した。</li> <li>・伝え方を変えるなど、気を遣うようになった。</li> <li>・使わないように意識しているが、どうしても使ってしまう場面があった。</li> </ul>
5月		
6月	呼称について考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼称は信頼関係につながると感じた。</li> <li>・〇〇さんと、呼ぶことで丁寧な言葉使いにつながった。</li> <li>・呼称は基本なので、気を付ける事が大切だと思い取り組んだ。</li> <li>・名前で呼んでしまう習慣があったが、苗字で呼ぶよう心がけた。</li> </ul>
7月		
8月	利用者のプライバシーどう守っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋に入るときは必ずノックをするよう心がけた。</li> <li>・トイレのカーテンを閉めるように努めた。</li> <li>・利用者が部屋にいるときは、プライバシーが守れるようドアを閉めるなどした。</li> <li>・利用者の話をするとき、聞かれてはならない人がいるときは注意して話をした。</li> </ul>
9月		
10月	利用者の個性や価値観を尊重しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傾聴を大切にせず否定せず受容した。</li> <li>・利用者の発言に否定ではなく、なぜそう発言したか考えた。</li> <li>・目線を合わせて利用者を選んでもらう職員がいて、見習いたいと思った。</li> <li>・短所と思えるところもリフレーミングして良くとらえようと心がけた。</li> <li>・職員の常識をあてはめないようにした。</li> </ul>
11月		
12月	基本を忠実に日々意識しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員行動の指針を守るよう意識した。</li> <li>・支援マニュアルを守るよう努めた。</li> <li>・忙しいと基本が抜けてしまうので、目標になると意識出来て取り組めた</li> <li>・丁寧な言葉使い、呼称について意識した。</li> <li>・支援を見直すきっかけになった。</li> </ul>
1月		
2月	感謝の気持ち、ちゃんと伝えていますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けに一言加えるとその場の雰囲気良くなると感じた。</li> <li>・利用者が行ってくれたことについて、その気持ちに対してお礼を伝えることを意識する。</li> <li>・職員間でも意識して伝えることが必要と感じた。</li> <li>・言葉で伝えることで、コミュニケーションもとれるので感謝は大切だと感じた。</li> </ul>
3月		

## 12 危機管理・安全対策

### (1) 取組内容

#### ア リスクマネジメント委員会

##### (ア) 目的

利用者支援、施設整備面における事故防止対策の確立。事故発生時の対応及び利用者の人権尊重の立場に立ったサービスの質の向上に向けたシステム構築を図ることを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・危険予知訓練「ひやりはっと報告」レベル2以上について予防策を考えました。
- ・「事故報告」のデータ分析を行い再発防止に向け話し合いました。
- ・各課において、生活環境の整備、改善に努めることで事故防止対策の確立に努めました。

#### イ 防災委員会

##### (ア) 目的

職員に対して防火、防災意識を徹底させて、指導や管理を行う。また、防災訓練・研修を通じて、園内の構造及び避難施設に関すること等、必要な事項について取組むことを目的とします。

##### (イ) 内容・結果

- ・毎月1回、火災・地震等、さらに昼間や夜間を想定した防災訓練を実施しました。
- ・土砂災害危険区域に入っていることもあり 災害を想定した避難訓練を行いました。
- ・災害発生時に備えた必要な防火備品および非常食材の入れ替え、炊き出し訓練を行いました。
- ・法人総合防災防犯訓練へ参画

### (2) 事故防止等対策

- ・防犯対策マニュアルの周知啓発および不審者侵入緊急初動マニュアルを各課に掲示しました。
- ・防犯対策チェックリストを毎月各課で実施し法人危機管理委員会へ報告を行いました。
- ・園内防犯訓練でALSOK隊員による「まもるっく」「赤外線センサー(機械警備)」の説明と作動訓練を行いました。

### (3) ひやりはっと報告

										(件)
報告数	負傷	服薬	誤嚥	誤飲食	物品破損	物品紛失	所在不明	医療	その他	
524	206	118	26	16	15	37	23	44	39	

### (4) 事故報告

報告数	怪我		誤与薬		誤飲食	誤嚥	所在不明	医療処置	物品破損	病气入院・死亡	その他
	骨折	やけど・傷・打撲等	飲ませ間違	飲ませ忘れ 飲みこぼし							
75	5	28	7	18	1	0	2	2	1	6	5

## (5) 防災・防犯訓練実施報告

実施日	訓練内容	担当
4月3日	新採用・異動職員への消防設備等の説明	総務課
4月19日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活2課
5月23日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活3課
5月24日	グループホーム避難訓練（そらホーム）	地域生活支援課
6月24日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練、消防・防災設備点検業者による設備・機器取り扱い説明	生活2課
7月22日	シェイクアウト訓練、ホイッスルリレー、防災倉庫内確認、防災設備等の説明	日中支援課
8月28日	浸水害、土砂災害想定避難訓練（台風に伴う避難勧告発令に対して）	生活1課
9月2日	地震発生時の避難等の利用者及び職員の訓練 MCA無線法人間使用訓練	危機管理委員会
9月27日	グループホーム避難訓練（ひのきホーム）	地域生活支援課
9月28日	避難、誘導、炊き出し訓練	総務・栄養調理課
10月28日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活3課
11月25日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	日中支援課
11月27日	不審者侵入対応訓練	危機管理委員会
11月30日	グループホーム非常勤職員対象、火災報知器使用訓練	地域生活支援課
12月20日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 消防設備等の説明	生活2課
12月30日	グループホーム避難訓練（そら、めい） グループホーム非常勤職員対象、火災報知器使用訓練	地域生活支援課
1月28日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練 消防設備等の説明	日中支援課
1月29日	グループホーム避難訓練（ひのき）	地域生活支援課
2月21日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活3課
3月25日	通報訓練（消防署、園内放送）、避難訓練	生活1課
3月28日	グループホーム避難訓練（ひのきホーム）	地域生活支援課

\*アルソック安否確認メールは毎月実施



### 13 職場研修実績

#### (1) 園内研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
新採用・異動職員研修	4/2	11	
新採用・異動職員フォローアップ研修	7/16	11	
非常勤研修(人権擁護)	5/21.24.27	19	
安全運転講習	4/27	32	
中長期計画説明	5/31	36	
メンタルヘルス研修	7/26	23	
普通救命講習	7/4.1/27	26	
腰痛予防研修	9/27	19	
感染予防研修	10/2	17	
非常勤研修(施設見学)	11/22	4	
リスクマネジメント研修	11/29	47	
人権擁護研修	1/31	29	
合計	15	274	

## (2)外部研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
新任職員人権研修	5/29	1	
全国知的障害関係施設長等会議	7/22-23	1	
神奈川県リハビリテーションセンター研修	7/10.24.8/6	1	
応急手当普及員再講習	6/15.29	3	
行動援護従事者養成研修関係	6/20～2/21	18	全16回
応急手当普及員講習	7/30-8/1	3	
関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	7/10-11	4	
全国グループホーム・ケアホーム等研修会	8/30-31	1	
相談支援従事者初任研修	7/1-2.8/8-9. 9/13	1	
相談支援従事者現任研修	2/7	1	
矯正施設退所者受け入れ関連研修 (知的障害のある犯罪行為者への支援を学ぶ)	8/7-8	1	
喀痰吸引		3	
全国知的障害福祉関係職員研究大会	10/22-24	2	
処遇改善と介護報酬改定	5/20	1	
サービス管理責任者研修	8/21.22	2	
サービス管理責任者更新研修	9/4.5.1/23.2/19	4	
社会福祉会計簿記講座	9/25.10/9.10/23	2	
特定給食施設等講習会	9/27	1	
福祉専門研修 基礎	12/16.1/15	4	
福祉専門研修 EP	12/26	3	
出資団体等及び指定管理者の 個人情報保護に関する研修	1/27	1	
安全運転管理者	9/12	1	
4園交換研修	11/20.21.22	1	
スーパーバイザー研修	8/21.10/8.11/19	1	
防災対策研修会	11/13	1	
合計		62	

## (2) 外部研修

(名)

研修名	開催日	参加人数	備考
県部課長会・主任者会支援会 支援スタッフ部会例会	9/21	1	
神奈リハ支援センター研修	6/20・27	2	
サービス管理責任者補足研修	①6/28-29 ②1/23. 3/7-8	2	
サービス管理責任者研修	①1/25. 2/21-22 ②9/19-20 ③10/4-5	5	介護分野①1名 ②1名 ③2名
関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	7/13-14	1	
医療的ケア研修	5/19. 6/2. 8他	5	
人権研修	①4/25 ②6/27	6	①1名②5名
障害福祉施設協議会新任職員研修会	11/7	2	
日中活動支援部全国大会	11/29-30	2	
安全運転管理者研修		1	
応急手当普及員講習会(新規)	7/31-8/2	5	
応急手当普及員講習会(再講習)	6/7	2	
福祉職専門研修(基礎Ⅰ)	8/2. 31	1	
福祉職専門研修(基礎Ⅱ)	9/	1	
福祉職専門研修(中堅)	8/21. 9/6	1	
県強度行動障害支援者養成研修(基礎)	7/25-26	1	
県強度行動障害支援者養成研修(実践)	2/26-27	1	
強度行動障害支援者養成研修(実践)	①2/5. 12 ②2/15. 22	3	①2名②1名
強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)	2/1. 8. 15. 22	1	埼玉県
県立施設間交流研修	11/5-6	1	さがみ緑風園
全国知的障害者関係職員研究大会	11/14-15	1	山口大会
触法研修	8/27-28	1	
全国グループホーム等研修会	9/3・4	1	愛媛県
県障害福祉職員実践報告会	12/17	1	
相談支援専門員初任者研修	6/11-12. 26-27 7/18-12/20	2	プレ研修、初任者研修
相談支援専門員現任者研修	6/21-9/20 10/17-1/16	3	
障害者支援区分認定調査員研修	4/25	1	
リフトフェア2018	8/2-4	1	
津久井やまゆり園利用者意思決定支援チームに対する研修	①5/11②9/11 ③2/27	11	①3名 ②5名 ③3名
障害福祉施設等防犯研修	8/8	1	
喀痰吸引		5	
高齢者支援セミナー		305	毎月1回開催
オープンセミナー	12/11	46	
医療的ケア指導看護師 フォローアップ研修	11/4	1	
合計		424	

## 14 ボランティア活動受入実績

### (1) 行事

名称	内容	活動日	(件) (名)	
			件数	人数
厚木市民吹奏楽団演奏会	演奏会	4月14日	1	24
ふれあいフェスティバル	模擬店補助	5月11日	1	3
地域交流レクリエーション	利用者交流(カラオケ)・昼食	5月29日	1	0
デザートテラス	茶菓子提供補助	6月26日	1	1
夏まつり2019	模擬店補助等	7月24日	1	1
長寿の祝い	利用者支援補助等	9月4日	1	0
ラ・フェスタ	利用者支援補助、調理補助等	10月5日	1	83
地域交流レクリエーション	昼食外出(ラポールせいか)	10月24日	1	2
デザートテラス	茶菓子提供補助	11月13日	1	2
クリスマス会	利用者支援補助等	12月11日	1	0
デザートテラス	茶菓子提供補助	2月6日	1	2
ボランティア懇談会	懇談・昼食会 → 中止	3月18日	0	

### (2) 日常

内容	活動日	(件) (名)	
		件数	人数
日中活動支援 ・活動支援、作業補助	随時	0	0
余暇活動 ・喫茶おはなし	月1回程度	10	7
余暇活動 ・ファミリーマート売店、ローソン売店	月1回程度	10	14
日中活動支援 ・清掃	随時	0	0
余暇活動 ・ガイドヘルパー外出	随時	10	13

15 実習生・研修生等受入実績

4月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火	
5月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金	
6月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日	社福)日本知的障害者福祉協会 1名 (12日間①・2期に分かれて) 6/3-15
7月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水	社福)日本知的障害者福祉協会 1名 (12日間②・2期に分かれて) 7/1-13
8月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土	保育)鶴見短期大学 1名 (11日間) 8/5-8/17 保育)國学院大学 2名 (12日間) 8/19-8/31 社福)田園調布学園大学 1名 (24日間・180時間) 8/6-9/6
9月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月	保育)鎌倉女子短期大学 2名 (12日間) 9/2-9/14 ※田園調布学園大学 -9/9 社福)日本社会事業大学 1名 (10日間・75時間) 9/2-8/13
10月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木	県社協介護等体験 2名 10/21-25 県社協 2名 10/28-11/1
11月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土	介護等 -11/1
12月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火	
1月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金	保育)聖セシリア女子短期大学 1名 (11日間) 1/20-1/31
2月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土	保育)和泉短期大学(12日間) 2/12-2/28 2名 中村夏海さん、石田晴菜さん
3月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火	保育)湘北短期大学(10日間) 3/2-3/13 2名 太田真優さん、保科美桜花さん

16 地域サービス事業取組結果

No.	事業名	事業内容	取組結果
1	専門スタッフ地域巡回支援事業	PT(理学療法士)や看護師、相談専門員が事業所を訪問し、医療的ケアの最新情報や支援技術についての情報提供及び機能訓練等を行い、地域生活を支える。	・今年度は予定等合わず、実施なし。
		地域住民や福祉関係職員・利用者等を対象に応急手当普及員有資格職員を派遣し、心肺蘇生法・AED使用方法等の講習会を実施する。	・普通救命講習会を他施設に応急手当普及員を派遣:1回/10名参加。
2	地域防災拠点施設事業	厚木精華園近隣の災害弱者の福祉避難所として機能整備する。	・荻野地区の5協定施設で災害時の協定施設機能を発揮するための連携組織「荻野地区協定施設連絡会」を設置、厚木市役所危機管理課と協働する。 7月会議に職員2名参加。
		消防署・市危機管理室・自治体と連携し、壊滅的な災害に備えた防災訓練を実施する。	・地域と連携した防災訓練は行わず。
3	地域交流・社会参加支援事業	地域の住民や在宅障害者を対象にコンサート、外出等を開催し、地域交流を図る。	・地域コンサート:2回開催・306人参加。 ・近隣の小学校と協働し、小学3年生47名と教諭3名を園に招き、交流を図った。 ・地域住民対象講演会:1回開催・106名参加。

## II 各課事業報告

### 1 総務課

社会福祉法人制度改革により、ガバナンスの強化として会計監査人が設けられ公認会計士による会計監査を受け、適正かつ効率的な会計実務を学びました。

経営会議を年3回開催し利用者の安心・安全で豊かな暮らしを支えるために、外出計画や備品更新並びに修繕計画を検討し計画的な予算執行に取り組みました。また、神奈川県による計画営繕として管理棟1.2階エアハンオーバーホール等に取り組みました。

また、地域生活支援課事務所移転が円滑に行えるよう厚木市・地域包括支援センターと協働し4月1日荻野地区相談支援の拠点として事務所開設に取り組みました。

備品更新並びに主な改修は以下の通りです。

#### \* 備品更新

【指定管理施設】	【自主事業】
調理課：スチームコンベクションオープン	
生活課：汚物除去機、エアコン、食器洗浄機	
診療所：歯科レントゲン	

#### \* 主な改修工事

法人施工	県施工
空調設備（厨房系）改修工事	管理棟2階ファンコイルユニット他
居住棟屋上排水・防水修繕工事	管理棟地下中央監視装置更新
浄化槽7号-修理	プールろ過装置等改修
居住棟2F支援員室等エアコン改修	管理棟1.2階エアハンオーバーホール
管理棟地階機械室煙感知器改修	浄化槽設備改修
消防設備修繕	
管理棟3F雨漏り修繕	
管理棟3F外倉庫撤去原状回復	
機械室・ボイラ室動力盤修繕	

## 2 栄養調理課

『スパイス愛で調理』

厚木精華園の食事は利用者に寄り添った『安全』『安心』そして、『感動』をお届けしてまいりました。

### (1) 温冷配膳車での提供

日中支援課に温冷配膳車を導入で全課に適温提供の実現に至りました。冬は温かい食事提供の実現、夏は冷たいデザート。食欲をそそる爽やかな冷やし中華等の提供で利用者へのサービス向上を図りました。

### (2) 栄養ケアマネジメントの実施

平成 29 年 4 月から多職種と連携し情報を共有することで利用者の健康状態の維持、増進、QOL ノ向上の為に、栄養ケアマネジメントに取り組みました。

### (3) 食事形態の改善と調理方法の工夫

高齢で嚥下機能が低下していく利用者に寄り添った食事は安全を第一に味、見た目の美しさを考慮して調理しています。

食事形態の特徴

ア 「口どけ食」喉をスルーと落ちていく嚥下困難な利用者に安心、安全な食事として当園には欠かせない嚥下食です。

イ 「トロミ食」は口腔内でばらけないように硬すぎず柔らかすぎない調理法です。

ウ 「カット食」は普通食の形態をさらに食べやすくカットをしました。

エ 「普通食」でも利用者さんには合わせた調理方法です。食べやすい大きさにカットします。煮物などは舌でつぶせる硬さです。

### (4) 医療対応食の実施

糖尿病、脂質異常症、高血圧、腎臓病、低残差、塩分制限等の医療食を医師の指示により実施しました。

### (5) 食事形態別食数 厚木精華園の入所者のみ

普通食 1800Kcal～1600Kcal 30 名・カット食 23 名・トロミ食 4 名・口どけ食 7 名

制限食 1400Kcal～1000Kcal 5 名・カット食 17 名・トロミ食 8 名・口どけ食 7 名

### (6) 嗜好による個人対応の実施で食事への不満を解消しました。

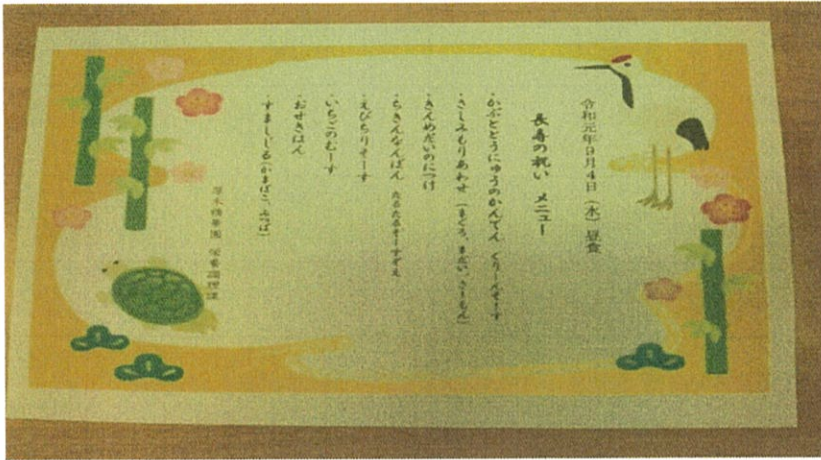
嫌いな食べ物、食べづらい物は利用者ご本人からのご希望に沿った食事の提供を実施しています。

### (7) 利用者『喫茶プティ招待』

後援会からの補助金事業。『喫茶プティ招待』とは、栄養調理課職員が入所者、グループホーム、生活介護利用者の方々を 6 名から 10 名招待し、職員食堂で午後 2 時から 3 時の一時間内で行う内容は、手作りお菓子や飲み物を囲んで談笑、風船バレー、伝言ゲーム、歌を唄い楽しい時間を過ごしました。

令和元年度『喫茶プティ招待』は年に 6 回実施しました。





(8) 『行事食』と『季節食事』の実施

- 6月 25周年特別食。開園25年を記念して特別食を提供しました。
- 9月 『長寿の祝い』高齢者施設ならではの行事、皆さんが食べやすいように調理された食事でお祝いをしました。
- 9月 『秋分の日』おはぎ3種を昼食で提供しました。「口どけのおはぎ」も大好評でした。
- 12月 厚木精華園クリスマスパーティー『クリスマススペシャル料理』でクリスマスを楽しみました。  
厚木身体障害者等介護事業所『とまと』のXmasバイキングを厚木精華園にて実施しました。
- 12月26日 年越しの天婦羅そばを提供しました。
- 令和2年 元旦 朝食は、雑煮、いくらの和え物などで新年を迎えました。  
昼食はお刺身豪華盛り合わせ、お赤飯、伊達巻、数の子の紅白なます、お吸い物を提供しました。
- 1月7日 朝食 七草粥を提供しました。
- 1月 各課新年会 お刺身、天ぷらとお正月料理でお祝いをしました。
- 1月 鏡開きでお汁粉を提供し、「口どけ食のお汁粉」を提供大好評でした。
- 2月 春分の日 昼食はおはぎ3種を昼食。「口どけ食のおはぎ」も提供しました。

季節ごとの日本の食文化を提供しました。

### 3 相談研修課

相談研修課は、研修に関する主な業務として「高齢者支援セミナー」を企画、運営をはじめ、園内研修の実施や職員派遣研修に関するものを行い人材育成が図れるよう取り組みました。また相談に関する業務として、多様なニーズを抱えた利用者の相談業務、短期利用相談等、施設利用に関する相談をはじめ、移行支援の調整など様々な業務を行っています。他、外部講師派遣や施設見学対応、各種実習生等の受入を行いました。あわせて利用者さんの余暇の充実の一環として「喫茶おはなし」を開催しました。

#### (1) 高齢者支援セミナー

高齢者の支援に関するセミナーとして厚木精華園が主催し、年11回開催しました。

令和元年度は「高齢者を知り、支援力をあげる」をテーマに実施し、40団体の登録があります。

	日程	テーマ	講師	参加人数
1	4月17日	おむつのあて方 排泄ケア	リブドコーポレーション 山口照美氏	8施設 15名
2	5月15日	白内障の方への支援の取組	厚木精華園 生活2課	15施設 21名
3	6月19日	高齢研合同セミナー セルフコーチング～ぶれない自分づくり～	特定非営利活動法人 サポートひろがり 代表 山田由美子氏	21施設 30名
4	7月17日	摂食嚥下について	稲城台病院 院長補佐 芳村直美氏	17施設 23名
5	8月21日	身体機能低下していく利用者さんの喪失感や看取りを支えるスタッフの心のケアについて	エム心理相談オフィス 所長 諏訪部政好氏	12施設 19名
6	9月18日	褥瘡及びポジショニング	東名厚木病院 看護部主任 齋藤祐子氏	14施設 18名
7	10月16日	成年後見制度	後見人 長島正子氏	15施設 23名
8	11月20日	高齢研合同セミナー 看取り	敬和荘 看護師 竜崎氏	14施設 29名
9	12月18日	力のいらぬ介助法	神奈川リハビリテーション支援センター 小泉理学療法士・木村作業療法士	16施設 29名
10	1月15日	高齢者の食事支援について	厚木精華園 栄養調理課	17施設 27名
11	2月19日	高齢者に必要な楽しみ レクリエーションについて	厚木精華園 日中支援課	14施設 24名
12	3月18日	機能維持 拘縮予防について	神奈川リハビリテーション支援センター	中止

#### (2) 外部発表

高齢者の支援に関する外部発表を行いました。

	日程	テーマ	講師	研修開催主体
1	11月28日 29日	利用者の高齢化の現状と課題	平嶺園長	第8回 障害者支援施設部会全国大会 (新潟大会)
2	1月25日	終末期ケアについて	平嶺園長	東京都利用者支援研究協議会

### (3) 短期入所事業

令和元年度の短期入所事業の利用者の特色として中高齢期の在宅の方でご家族の高齢化により家庭で継続して過ごすことが難しくなった方やご家族のご病気による受入、重複障害のためハード面で術後安定するまでの間の受入や被虐待者の受入、身体状況の変化から在宅生活や他入所施設での生活が難しくなってきた方の利用が目立ちました。

#### ア 月別短期入所状況

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	人	4	6	6	6	7	4	5	4	2	5	5	4	58
	日	22	42	39	28	67	34	36	28	9	23	28	16	372
女	人	5	4	3	6	5	5	6	7	6	5	6	5	63
	日	42	41	54	46	39	39	63	48	43	42	42	40	539
計	人	9	10	9	12	12	9	11	11	8	10	11	9	121
	日	64	83	93	74	106	73	99	76	52	65	70	56	911

#### イ 市町村別短期利用者状況

(単位：人)

区分	厚木市	伊勢原市	相模原市	秦野市	海老名市	小田原市	平塚市	愛川町	座間市	茅ヶ崎市	綾瀬市	大和市	川崎市	藤沢市	計
男	25	0	11	1	7	0	4	6	4	0	0	0	0	0	58
女	34	1	5	1	0	0	0	0	2	4	0	2	12	2	63
計	59	1	16	2	7	0	4	6	6	4	0	2	12	2	121

### (4) 相談支援

相談研修課のケースワーカーを中心に、相談の受け付けを行いました。入所相談が中心で、短期入所へのほか、平日、日中活動の場として生活介護を希望する方の相談がありました。市町村や指定相談支援事業所の窓口との連携、他施設との情報交換を十分に行っていくことが不可欠となっています。相談件数は以下に示す表の通りでした。他、移行支援にかかる調整も行いました。

#### 相談支援の状況

(単位：件)

区分		厚木市	相模原市	秦野市	平塚市	小田原市	茅ヶ崎市	湯河原町	横浜市	座間市	海老名市	愛川町	清川村	川崎市	
相談・見学	男	44	9	4	9	10	0	0	2	11	6	17	0	0	
	女	17	6	2	0	1	12	0	11	2	0	2	0	0	
	計	61	15	6	9	11	12	0	13	13	6	19	0	0	
区分		綾瀬市	伊勢原市	藤沢市	鎌倉市	寒川町	松田町	横須賀市	三浦	逗子	山北	大和	県外	不明	計
相談・見学	男	0	2	0	10	0	0	0	0	0	0	1	2	4	131
	女	0	5	2	7	12	0	1	0	0	1	8	1	6	96
	計	0	7	2	17	12	0	1	0	0	1	9	3	10	227

(5) 施設見学

	日程	施設名	人数	備考
1	4月26日	やまばと学園	3	調理課見学
2	6月24日	綾瀬市綾北地区民生委員児童委員協議会	14	
3	7月30日	埼玉県社会福祉事業団 花園	3	GH見学 口どけ食試食
4	10月11日	松風学園	5	
5	11月14日	来島会 南海学園	4	口どけ食試食
6	11月19日	綾瀬市中央区民生委員児童委員協議会	20	
7	12月17日	ひかりの園 浜松協働学舎	5	口どけ食試食
計 団体			54	

その他見学 (相談者・実習生等) (件数) (人数)

合計	27件	65	
全体合計		119	

(7) 実習生・研修生

	受入人数	受入述べ日数
保育実習	10名	114日
社会福祉士	3名	58日
社会福祉主事	0名	0日
その他	4名	18日

## 4 生活課

### (1) 生活課の状況

#### 1 課利用者状況

(単位：人) 令和2年3月31日現在

性別		女性38名（短期利用者は除く）						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	9	3	8	8	4	3	0	35
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	0		3		5		27	
身体状況	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・腎瘻	補装具使用者	常時車椅子	外出用車椅子	歩行器
	5	11	0	2		19	8	1

#### 2 課利用者状況

(単位：人) 令和2年3月31日現在

性別		男性35名（短期利用者は除く）						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	8	10	2	6	5	1	2	34
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	1		2		8		23	
身体状況	視聴覚	肢体等	吸引	胃ろう・経鼻	補装具使用者	常時車椅子	外出用車椅子	歩行器
	2	12	1	1		16	6	5

#### 3 課利用者状況

(単位：人) 令和2年3月31日現在

性別		男性34名（短期利用者は除く）						
年齢階層	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
	12	3	3	9	6	0	1	34
障害支援区分	区分3		区分4		区分5		区分6	
	4		8		13		9	
身体状況	肢体等	その他	吸引	胃ろう・経鼻	補装具使用者	常時車椅子	保護帽	歩行器
	3	2	0	0		8	7	1

生活課は3課体制で支援しています。1課が女性、2課・3課が男性で構成されています。利用者数は3月末現在、女性35名、男性68名となっています。

令和元年度は、入退院を繰り返す方や身体機能の低下（特に拘縮や褥瘡等）が多くみられました。また、知的障害に加え認知症的症状が進行する方も増えました。令和1年度は男性3名、女性1名がご逝去されました。また、常時医療が必要となり、男性2名、女性3名が療養型病院へ移行されました。

利用者全体の介護内容が多様化・増加している中で、人生のラストステージを迎えようとしている利用者への個別支援をどう実施していくかが引き続き大きな課題となっています。

医療的ケアについては、法制度上、施設支援の限界があり、療養型病床群等への移行支援ニーズも高まっています。

### (2) 食事

毎日の食事では栄養ケアマネジメントに取り組み、利用者の嗜好を尊重した「個別対応食」や、嚥下困難な方への配慮（普通食、カット食、とろみ食、口どけ食等）を生活課、看護課、調理課との連携で進めてきました。また、食事支援を必要とされる方が年々増加しているため、より安全な環境で食事提供できるよう、定期的に食事席の見直しや介助方法の見直し等を行いました。

### (3) 入浴

高齢化による急激な体調の変化、介護度、障害特性、交友関係などを考慮した上でグループ分けを行い、個々に最適と考えられる浴室(一般浴室、リフター付浴室、機械浴室)での入浴を実施しました。生活1課では午前の機械浴と午後は2か所で実施とシャワーストレッチャー浴を週1回、生活2課では午後2箇所での2回の実施、生活3課では午後1回、夕食後1回の2回実施しています。利用者の重度化、高齢化に伴い機械浴での入浴者が増加傾向にあり、日中支援課と協力し生活介護サービスの枠内で入浴が実施できる体制づくりを図ってきました。より「安全」で「快適」な入浴時間を提供できるように、利用者数、職員数、回数等が適正かどうかを常に検討しました。

### (4) 余暇・外出

個別のニーズに沿って支援を進めました。美容サービス(ネイル)、介護マッサージ等の定期利用の他、喫茶プティ・デザートテラス・ファミリーマート販売会・出張販売会・映画会・音楽会・カラオケ・レクリエーション等も余暇支援として取り組みました。

介護度の上昇、通院回数の増加等により外出の機会は減少しましたが、可能な限り個別での外部事業所の利用、職員等によるガイドヘルパー制度の活用により、その機会を最大限確保するよう努めました。また職員同行の外出は、昼食外出・買い物外出が大部分を占めましたが、本人の気持ちを汲み家族と調整を諮り家庭訪問等も実施しました。好天の日には短時間でもドライブや園近辺の散歩等ができるよう日課を工夫しました。さらに外出できない方には、外食気分を感じていただけるよう出前をとり、ゲストハウス等を利用して日常と雰囲気を変えての食事場面も提供しました。利用者が楽しんで頂ける機会を少しでも多く確保できるよう努めました。

### (5) 支援スキル向上への取り組み

理学療法士の指導の下、利用者の身体機能維持に必要な運動プログラムを学び、拘縮予防や介護予防に繋がっています。また支援方法や介助方法が適切に行えているかを確認し、より安全で安心感を感じていただけるよう努めました。また、安定したサービスの提供ができるように支援方法や介助方法のマニュアルを作成し、情報共有と統一した支援を行いました。

### (6) 福祉機器の活用

介護度の上昇に伴い、「利用者にとっての安心安全」「職員にとっての衛生管理」を両立させるべく、生活1課のリフター導入から4年を経過しました。利用者も職員も日々、当たり前のように利用しており安全な使用を続けるためリフターのインストラクターの資格を取得した職員による講習を行っています。また、車いすに座っていることが多い利用者の為、イージーウォークを導入し浮腫み解消に役立てています。

(5) 各課の行事

	生活1課	生活2課	生活3課
4月	・昼食外出（海老名）	・カラオケ外出	・お花見ドライブ ・日中合同外出
5月	・カラオケ外出	・昼食外出 ・日帰り外出（横浜方面）	・ふれあいフェスティバル外出 ・昼食外出 ・日中合同外出（買い物・温泉）
6月	・昼食外出、（小田原） ・日帰り外出（江の島） ・福祉ネイル	・日帰り外出（熱海方面） ・買物外出	・日帰り旅行 ・1泊旅行（伊豆方面） ・1泊旅行（箱根方面） ・昼食外出
7月	・福祉ネイル	・日帰り外出（江の島）	・1泊旅行（富士サファリ） ・1泊旅行（御殿場方面） ・日帰り旅行 ・昼食外出
8月	・出前 ・日帰り外出（氷川きよし） ・おやつ外出 ・福祉ネイル ・課内花火大会	・熱中症予防と健康管理	・昼食外出 ・他施設夏祭り訪問
9月	・福祉ネイル	・ドライブ外出 ・日帰り外出（町田方面）	・1泊旅行（三浦方面） ・昼食外出
10月	・昼食外出、ドライブ ・日帰り外出（平塚運動公園） ・日帰り外出（宮ヶ瀬）	・日帰り外出（江の島） ・日帰り外出（横浜方面） ・日帰り外出（大和方面）	・日帰り旅行（ズーラシア） ・1泊旅行（伊豆方面） ・昼食外出
11月	・昼食外出（ハンバーガー） ・福祉ネイル	・昼食外出 ・買物外出	・日中合同外出（時の栖） ・昼食外出 ・他園行事参加
12月	・課クリスマス会（おやつ） ・福祉ネイル	・感染症予防と健康管理に努め 外出を控えました	・日帰り旅行（湯河原方面） ・昼食外出
1月	・新年会 ・福祉ネイル	・感染症予防と健康管理に努め 外出を控えました	・初詣 ・新年会 ・昼食外出
2月	・出前	・感染症予防と健康管理に努め 外出を控えました	・昼食外出
3月	・課内春の宴（おやつ）	・感染症予防と健康管理に努め 外出を控えました	・昼食外出

※その他、短時間の外出やドライブ、家庭訪問等も数多く行いました。

## 5 日中支援課

令和元年度の日中支援課は定員 140 名で生活介護事業を行いました。利用者の契約状況として一般入所 103 名、共同生活援助利用者 22 名、在宅利用者 10 名となっています。(令和 2 年 3 月 31 日現在)

### (1) サービス概要

サービス内容としては、生活介護を 3 つの空間『寮』『作業活動室』『デイルーム』に分け支援を行なってきました。

『寮』では、日中、寮で過ごしている利用者に対して機能維持活動や入浴等を中心とした介護・支援を行ないました。

『作業活動室』では、一般入所(寮)・共同生活援助・在宅利用者に対して生産・創作活動や余暇等を中心とした介護・支援を行ないました。

『デイルーム』では、一般入所(寮)・在宅利用者等に対して個別活動や入浴を中心とした介護・支援を行ないました。

また、食事についても利用者のニーズ・摂食状況に応じた食事内容、介助を、利用者介護・支援についての『安心・安全』を最優先にしながら、より良い「日中のすごし」が提供できるように取り組みました。

#### \* 令和元年度月別利用者状況 \*

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	21	23	
利用者数 (延べ)	2703	2786	2648	2809	2760	2593	2770	2588	2647	2647	2446	2737	2677.8

### (2) 年間目標

#### ア 「日中のすごし」の利用者満足度を上げる取り組みについて

介護・支援等の取り組み内容の見直しを適宜実施し、利用者のニーズに応じたより良い介護・支援を目指し、取り組みました。また、理学療法士からのアドバイスの基、機能維持に向けた活動を実施しました。

#### イ 地域住民・事業所等の交流・貢献について

ボランティアのコーディネート業務を円滑に行ない、ボランティアの継続参加・新規受け入れに努め、施設連絡会行事への参画、地域コンサートの開催等にて地域住民・他事業所との交流を図りました。

#### ウ 課体制の改善及び職員のスキルアップについて

会議等にて業務内容の見直しや効率化を図りました。利用者の立場になっての体験や意見交換を通して、専門技術・知識、人権・権利擁護の意識向上に努めました。



### (3) 週間プログラム

#### ◆ 寮

機能維持活動や入浴を中心に介護・支援を行なってきました。

- ・機能維持活動については、理学療法士からのアドバイスの基にして福祉機器等活用しながら、日々取り組める活動を行なってきました。
- ・入浴については、一般浴、マルチリフター浴及び機械浴を実施しました。特に機械浴については、利用者の身体的負担が軽減され、利用ニーズが高くなっています。
- ・理美容については、理容・美容合わせて月4回実施しました。園内理美容室までの移動が困難な利用者に対しては、理美容師が寮まで出向いて行ないました。

#### ◆ 作業活動室

午前は生産活動を中心に、午後は曜日毎のプログラムに合わせて介護・支援を行なってきました。

- ・生産活動については、「働きたい」という気持ちを大切に、利用者一人一人の希望、能力に合わせて作業の提供をしました。内容としては、「アルミリサイクル」「DVD・CD解体」を中心に行いました。
- ・曜日毎のプログラムについては、機能維持活動として高齢化に伴う身体機能低下及び廃用症候群の予防を目的とし、理学療法士の指導に基づいた職員による機能維持運動などを実施しました。また、余暇的な活動として、カラオケ・映画会とそれぞれ週1回、作業活動室で定期プログラムとして取り入れ、実施しました。
- ・創作活動においても月1回、外部より講師・ボランティアを招いて作業活動室で実施しました。絵手紙については、参加者の作品を園内外等に展示しました。

#### ◆ デイルーム

機械浴や個別での活動を中心に介護・支援を行ないました。

- ・理学療法士のアドバイスの基、機能維持やリラクゼーションを中心とした支援を実施しました。また、個別に関わりながら、作業活動室にて他利用者とのコミュニケーションを含め、余暇・創作活動等集団活動にも参加しました。

\*他、売店（ファミリーマート）、音楽レク、喫茶おはなし等の余暇的な活動も実施しました。

#### ◇ 地域交流関連事業

コンサートや施設連絡会行事に参画し、地域交流等にも努めました。

荻野小学校3年生47名と園内の見学及び高齢者疑似体験等また、利用者と一緒にパラリンピック種目を行なう交流会を行ないました。

#### ◎送迎

厚木市在住の共同生活援助利用者、生活介護在宅利用者に対して実施し、安全・安心できる運転を心掛けました。

## 6 看護課

### (1) 診療業務及び受診状況

厚木精華園診療所の役割は、利用者の健康管理と診療業務です。診療業務は継続して神奈川県リハビリテーション病院の協力を得て行いました。

### (2) 年間業務

年度の計画に基づき健康診断及び諸検査などを以下の内容で行いました。前年度と変わりなく実施できました。異常時には外部医療機関を受診して検査や治療、医療的フォローを実施しました。

- ア 健診業務 内科（一般聴打診・血圧測定・心電図・身長・体重）  
胸部レントゲン撮影（1回/年）  
内科健診は誕生月健診と6ヶ月後に実施  
耳鼻科、眼科、乳癌検診
- イ 検査業務 血液検査（血清、生化学、、薬物血中濃度）  
腫瘍マーカー検査 便潜血  
尿検査（尿一般、）  
脳波検査（医師から指示ある人のみ）

### (3) 日常業務

#### ア 観察

体調を十分に訴えることが難しい高齢知的障害者の健康把握のため、支援員から利用者の健康状態についての情報提供を受けながら、観察を行いました。また医療職員と支援員が同じ視点で利用者の健康状態について、共通認識をもちながら密接な連携が保てるように心がけました。

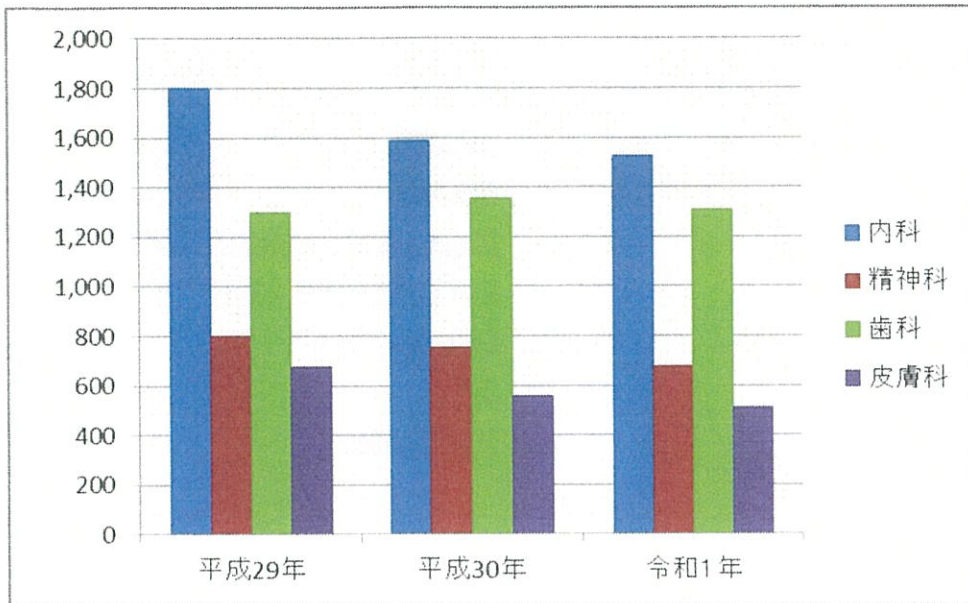
#### イ 園内診療状況

各科の診療は月間予定表を作成して計画的に行うことができました今年度の総診療件数 4169 件であり、前年度より 238 件の減少結果となっています。統計資料による各科の前年度比は次のとおりでした。

診療件数

診療科 年度	内科	精神科	歯科	皮膚科	眼科*	総診療件数
平成 29 年	1,800	801	1,295	677	155	4728
平成 30 年	1,588	756	1,353	558	155	4407
令和元年	1,525	677	1,308	509	150	4169

\*（眼科検診も含）



(ア) 内 科

診療件数は1525件、入院や他界・移行支援等で63件の減少となりました。利用者の感染症の発症はありませんでした。

(イ) 精神科

診療は週2日と前年度と変わりなく診療件数は677件でした。利用者の移行・他界に伴い、79件の減となりました。

(ウ) 歯 科

感染症による課閉鎖等なかったが1308件でした。定期的な口腔ケアや診療を行い口腔内の清潔を保持することは出来ましたが45件減となりました。

(エ) 皮膚科

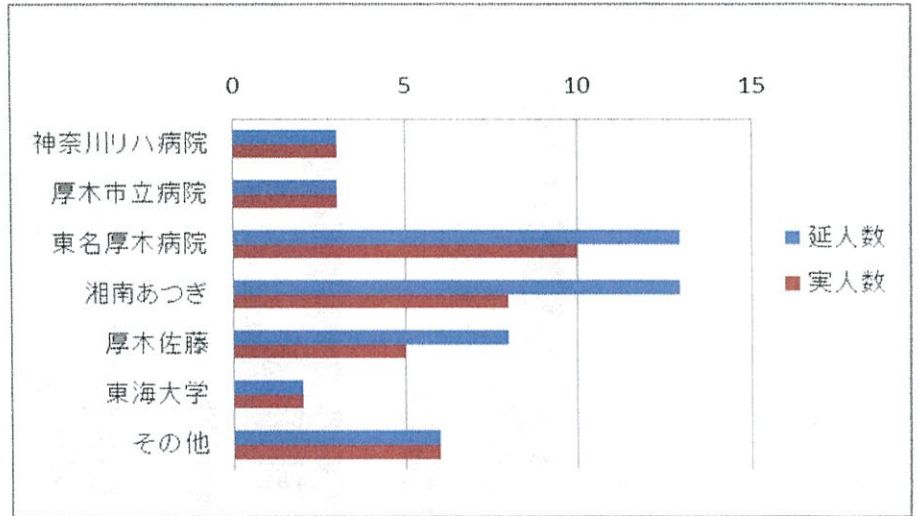
今年度診療件数は509件で利用者個々の状態改善もあり昨年度よりも49件減となりました。老人特有の皮膚疾患や褥瘡は園内での診療・処置にも限界あり並行して外部通院も行いました。

ウ 他医療機関の受診状況

園内治療には限界があり専門医による診療が必要な疾患や、より精密検査を必要とする疾患については神奈川リハビリテーション病院や厚木市立病院、東名厚木病院、湘南厚木病院等を利用しました。発熱や外傷については近隣の病院を利用し、東名厚木病院等への通入院は緊急での利用がほとんどでした。延べ入院数は48件でここ数年の利用者の入れ替わりと移行支援への取り組みの結果や白内障の手術等で昨年よりも9件増につながりました。

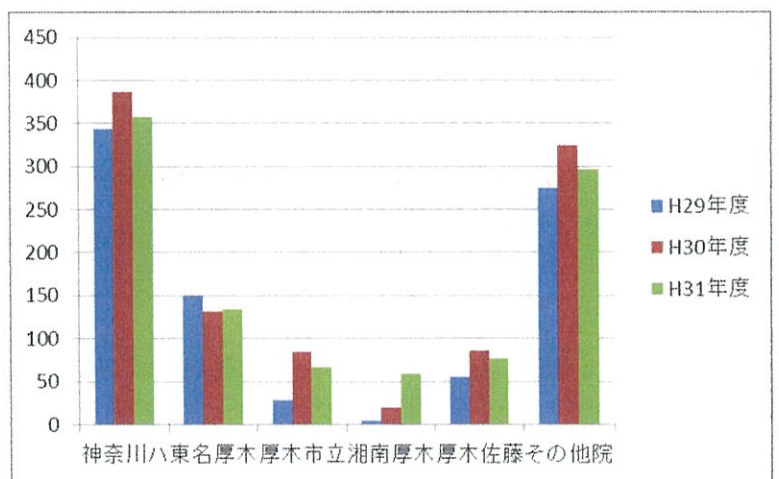
### 入院状況

入院先	延人数	実人数
神奈川リハ病院	3	3
厚木市立病院	3	3
東名厚木病院	13	10
湘南あつぎ	13	8
厚木佐藤	8	5
東海大学	2	2
その他	6	6
計	48	37



### 厚木精華園通院状況

通院先	H29年度	H30年度	R元年
神奈川リハ	344	387	358
東名厚木	149	131	134
厚木市立	28	84	66
湘南厚木	4	20	59
厚木佐藤	55	86	77
計	580	708	694
その他病院	275	325	297
合計	855	1033	991



### 令和元年度通院状況

	神奈川リハ病院	東名厚木クリニック	厚木市立病院	湘南厚木病院	厚木佐藤病院	合計
内科	36	65	12	5	43	161
泌尿器科	121	12	5	20	3	161
精神科	0	0	0	0	24	24
外科	55	12	12	4	0	83
脳神経外科	16	0	0	0	0	16
脳外科	0	0	0	2	0	2
整形外科	57	0	4	4	0	65
形成外科	0	18	0	0	0	18
皮膚科	67	2	4	0	2	75
眼科	2	0	14	0	5	21
耳鼻科	0	0	4	0	0	4
リハ科	3	0	0	0	0	3
歯科	1	0	0	0	0	1
婦人科	0	0	5	0	0	5
緊急外来	0	25	6	24	0	55
合計	358	134	66	59	77	694

その他医療機関

峯崎整形外科	25	あらかわクリニック	32
米澤外科内科	96	相州病院	24
戸室耳鼻科	35	森の里	2
東海大	32	仁厚会	1
とびお診療所	4	その他医院等	36
伊勢原協同病院	10		
		延べ人数	0

エ 入院状況

令和元年度は延べ48件、入院日数は1403日、実人数32名でした。また平均すると1回の入院日数は、約29日で昨年とほぼ変わりありませんでした。高齢に伴う身体の変化は顕著であり主に転倒による外傷や誤嚥性肺炎・尿路感染ので入院が多く、入退院を繰り返す人もあり園内での看護・支援継続の困難さに療養型の病院等に移行された方もいました。

平成31年4月～令和2年3月

NO	性別	年齢	疾患名	入院機関	入院期間	入院日数
1	女	70	食思不振	オアシス湘南	1/17-6/30	91
2	男	75	イレウス	米澤外科内科	3/1-4/3	3
3	女	75	肺炎	厚木佐藤	3/22-8/31	163
4	男	46	誤嚥性肺炎	湘南厚木	3/31-4/18	18
5			尿路感染	東名厚木	4/2-4/5	4
6	男	80	喘息発作重積	東名厚木	5/1-5/21	21
7	男	68	40℃発熱	厚木佐藤	5/2-8/4	95
8	男	83	左大腿骨頸部骨折	神奈川リハ	5/10-6/27	49
9	男	78	誤嚥性肺炎	東名厚木	5/30-6/10	救急車要請 12
10	男	81	不明熱の精査目的	湘南厚木	6/11-7/11	救急車要請 31
11	男	72	発熱・急性腎盂腎炎	東名厚木	6/17-6/26	10
12	女	86	右足大腿部骨折	湘南厚木	6/18-7/5	18
13	男	77	発熱とSP02が安定せず	東名厚木	6/23-7/2	10
14	男	79	肺炎	厚木市立	7/15-7/16	1
15	男	79	肺炎	東名厚木	7/16-7/25	15
16	女	58	尿閉	湘南厚木	7/17-7/30	14
17	男	78	肺炎 低血糖	東名厚木	7/21-7/29	救急車要請 9
18	女	82	イレウス状態改善のため	オアシス湘南	7/25-3/31	244
19	女	56	右股関節骨折	神奈川リハ	7/25-7/26	2
20	女	86	右足大腿部骨折術創部再手術	湘南厚木	8/2-8/22	21
21	男	79	腸ねん転	東名厚木	8/30-9/9	11
22	男	84	鼠径ヘルニア手術	東名厚木	8/27-8/30	4
23	男	61	上気道炎	湘南厚木	9/9-9/17	9
24	男	79	肺炎	東名厚木	9/11-10/11	9
25	男	81	肺炎	湘南厚木	9/22-9/30	9
26	男	83	イレウス	米澤外科内科	9/28-10/16	19
27	女	80	食思不振	オアシス湘南	10月25日	1
28	男	81	発熱(40℃) SP02の低下	湘南厚木	10/26-11/15	21
29	男	65	発熱・倦怠感 腎盂腎炎(右)	東名厚木	11/2-11/18	17

30	男	69	左大腿骨頸部骨折	神奈川リハ	11/6-11/26		21
31	男	46	両目白内障手術	北里大学	11/6-11/8		3
32	男	73	両目白内障手術	東海大学	11/7-11/9		3
33	男	79	食思不振・肺炎	厚木佐藤	11/7-12/17		41
34	男	46	両目白内障手術後フォロー	厚木佐藤	11/8-11/14		7
35	男	44	尿路感染症	湘南厚木	11/24-12/9		16
36	男	53	重症肺炎	厚木佐藤	11/29-1/22	救急車要請	55
37	女	86	高カリウム血症 急性腎不全	湘南厚木	12/4-1/17		45
38	男	61	右肺炎	湘南厚木	12/5-12/26-1/8		35
39	男	46	紫斑病 血小板減少	厚木佐藤病院	12/6-12/26		21
40	女	71	肛門周囲膿瘍	東名厚木	12/16 - 2/6		53
41	男	70	尿路感染 食欲不振	湘南厚木	1/3-3/31	救急車要請	89
42	男	46	紫斑病、血小板減少	厚木佐藤	1/14-2/13		31
43	女	86	白内障オペ	東海大学	1/14-1/15		2
44	男	77	人工肛門造設	東名厚木	1/25-2/12		19
45	女	65	肛門周囲膿瘍	厚木市立	1/29-2/3		6
46	男	53	てんかん・不整脈	湘南厚木	2/29-3/11		12
47	男	47	胃カメラ検査にて	厚木佐藤	3/2-3/4		3
48	男	61	貧血と食道潰瘍	厚木市立	3/18-3/27		10

\*救急車の要請は入院状況も含め9件でした。

## オ 死亡者

入所利用者の死亡状況は次のとおりです。

	性別	年齢	疾患	医療機関	日時
1	男	78	肺炎・低血糖 DIC	東名厚木	R1年7月29日 21時05分
2	男	68	肺炎	厚木佐藤	R1年8月4日 4時14分
3	男	71	イレウス（小腸壊死）	東名厚木	R1年9月1日 7時40分
4	女	80	慢性心不全増悪のため	オアシス湘南	R1年10月25日 19時55分

## カ その他

### (ア) 感染症対策

インフルエンザワクチン予防接種の実施、インフルエンザウィルスキット、ノロウィルス抗体キット、マスクなどを購入し感染症予防の対策を取りました。また、支援員への感染症予防の啓発として専門医による研修会を開催とノロ対応訓練を行い標準化を図るよう努めました。今年度も感染性胃腸炎の感染はなくインフルエンザについてはGHで職員の発症があり1ホームで予防内服を行いました。

生活課では尿路感染を繰り返すため尿道カテーテルを留置している利用者が増え安全なケアが維持できるよう察との情報共有を密に行いました。

### (イ) 医療的ケア

高齢化に伴い入退院を繰り返す中で医療的ケアが求められる機会が多くなっています。移行支援等で対象者が減少となり、今年度は医療行為の変更、職員の異動者が対象となり10名が研修を終了しました。

また年1回の園内での手技見直しを実施し安全確認を行いました。

医療的ケアの対象人数は経鼻栄養：1名、胃ろう：3名、吸引：5名。

## 7 厚木身体障害者等生活介護事業所『とまと』

厚木市より事業を引き継ぎ、厚木精華園による運営が9年目となりました。令和元年度は、前年度6名退所されましたが、新規の利用者が年度途中から利用開始した3名に留まったこともあり、前年度より減少しました。しかし、兼ねてから利用者・家族から要望があった「土曜日・祝祭日開所」を実施し、皆さんより「助かっています。」と、有難い言葉をいただきました。満足度調査を年2回実施する等、普段から利用者の意見を尊重し、自立支援プログラム、入浴、行事等要望に応えました。またボランティアとの協働作業で、新たなる自主作品の作製により活動内容が拡がりました。

### (1) 年間事業実績

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	総計
男性	698	128	362	124	12	1,324
女性	833	406	324	0		1,563
計	1,531	534	686	124	12	2,887

項目	事業実施日	延利用者数	1日平均利用者数
実績	265日	2,887人	10.8人

### (2) 曜日別利用予定者数

曜日	月	火	水	木	金
利用人数	13人 (男6・女7)	13人 (男5・女8)	12人 (男6・女6)	14人 (男9・女5)	18人 (男8・女10)

### (3) 利用者概要

利用契約者数…33人(男性17人・女性16人) ※年間ボランティア数…35名(延人員)  
年齢分布…20代(8人)30代(4人)40代(11人)50代(6人)60代(4人)

障害支援区分…区分2(1人)・区分3(2人)・区分4(7人)・区分5(9人)・区分6(14人)

障害原因…脳外傷(3人)・脳内出血、脳梗塞(4人)

脳性マヒ(16人)・糖尿病(4人)等

車椅子使用者…29人 白杖使用者…1人 歩行器…1人

### (4) 活動実績

ア 防災訓練…月1回、年間12回実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月
緊急時訓練 月曜利用者	緊急時訓練 火曜利用者	緊急時訓練 水曜利用者	緊急時訓練 木曜利用者	緊急時訓練 金曜利用者	避難場所への 移動訓練
10月	11月	12月	1月	2月	3月
緊急時訓練 月曜利用者DVD使用	緊急時訓練 火曜利用者DVD使用	緊急時訓練 水曜利用者DVD使用	緊急時訓練 木曜利用者DVD使用	緊急時訓練 金曜利用者DVD使用	避難場所への 移動訓練

イ 自立支援プログラム「この指とまれ!!」実績

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0回/0名	2回/11名	2回/11名	2回/12名	1回/5名	1回/7名
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回/6名	2回/10名	1回/9名	0回/0名	1回/6名	0回/0名

## 8 地域生活支援課（グループホーム）

	①	②	③
写真			
ホーム名	グループホーム ゆめホーム	グループホーム はなホーム	グループホーム そらホーム
タイプ	2階一戸建	2階一戸建	2階一戸建
開設年月	平成9年4月 平成17年3月 に移転	平成14年4月	平成15年10月
所在地	厚木市 鳶尾地区4丁目	厚木市 鳶尾地区4丁目	厚木市 鳶尾地区4丁目
定員	4名+体験1名	6名	5名
入居者数	男性：4名	男性：5名	男性：4名 女性：1名
体験部屋	1		
家賃	35,000円	33,000円	33,000円
食費	17,720円	19,235円	15,698円
光熱水費	18,483円	11,241円	12,030円
日常生活品費	1,200円	1,200円	1,200円
援護地	厚木市 3名 小田原市 1名	厚木市 2名 愛川町 1名 藤沢市 1名 伊勢原市 1名	横浜市 1名 藤沢市 1名 厚木市 1名 座間市 1名 川崎市 1名
日中活動	福祉サービス4名	福祉サービス5名	福祉サービス5名
療育手帳	A 2-3名 B 1-1名	A 1-1名 A 2-2名 B 1-2名	A 1-1名 A 2-4名
障害支援区分	区分2-1名 区分3-1名 区分4-1名 区分5-1名	区分3-2名 区分4-2名 区分5-1名	区分4-4名 区分5-1名
介護保険利用	介護保険併用0名	介護保険併用1名	介護保険併用2名
支援体制 (時間)	(平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00 (平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(毎日) 6:00~9:00 (平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15
夜間支援	夜勤	巡回	巡回
防災防犯設備	自動火災報知機 まもるっく	自動火災報知機 まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく





\*利用者の高齢化および支援度の重度化、そして、建物の老朽化を見据えて日中支援型GHの検討を行っていきます。

\*令和元年度末の利用者の状況は、平均年齢66才(男性63才・女性69才)、平均支援区分4です。

\*「めい」「すみれ」「ひのき」はバリアフリー設計であり、3名の方が車いす(うち1名は歩行器)を利用しています。



令和2年3月31日現在

④	⑤	⑥	⑦
			
グループホーム めいホーム 平屋一戸建	グループホーム ハイツすみれ 平屋一戸建	グループホーム いずみホーム 平屋一戸建	グループホーム ひのきホーム 平屋一戸建
平成20年10月	平成21年5月	平成22年5月	平成24年5月
厚木市 鷹尾地区2丁目	厚木市 鷹尾地区4丁目	厚木市 鷹尾地区1丁目	厚木市 上荻野地区
5名	5名	5名	5名
女性：4名	女性：5名	女性：5名	男性：5名
36,000円	37,000円	38,000円	32,000円
17,186円	16,306円	16,728円	16,710円
10,249円	12,777円	13,814円	12,912円
1,200円	1,200円	1,200円	1,200円
秦野市 2名 茅ヶ崎市 1名 厚木市 1名	大和市 1名 座間市 1名 厚木市 1名 秦野市 1名 寒川町 1名	座間市 1名 相模原市 1名 小田原市 1名 横浜市 1名 川崎市 1名	厚木市 2名 海老名市 1名 湯河原町 1名 小田原市 1名
福祉サービス4名	福祉サービス5名	福祉サービス5名	福祉サービス5名
A1-1名 A2-2名 B1-1名	A1-2名 A2-1名 B1-2名	A2-4名 B1-1名	A2-4名 B1-1名
区分4-1名 区分5-3名	区分4-2名 区分5-2名 区分6-1名	区分3-2名 区分4-2名 区分5-1名	区分4-4名 区分5-1名
介護保険併用2名	介護保険併用3名	介護保険併用3名	介護保険併用2名
(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 10:45~19:15	(平日) 15:00~19:15 (休日) 8:00~19:15
夜勤	夜勤	夜勤	夜勤
自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく	自動火災報知機 スプリンクラー まもるっく

\*利用者の日中活動の場としては厚木精華園の生活介護事業(19名)、厚木精華園身体障害者等生活介護事業所(1名)、法人外の就労系サービス(16名)、また、3名の方が介護保険のディサービスを利用しています。  
\*介護保険のサービスを併用している方は、14名であり、入浴支援、特養ショートステイ、介護用品貸与、ディサービス等を利用しています。  
\*成年後見制度の利用も推進しており、12名に成年後見人が選任されています。

## 9 厚木精華園相談 支援事業所『ここから』

### (1) 概要

本事業所は指定特定相談支援事業所として指定を受け、これまで地域での高齢知的障害者支援を積み上げてきた厚木精華園の強みを活かし、他職種、とりわけ介護保険事業者（居宅事業所のケアマネージャー、地域包括支援センター等）との連携を強化し、地域包括ケア社会実現に向けた一翼を担いました。

相談の内容に関しては、よりきめ細かい対応と他支援機関との連携を心掛けながら進めており、基幹相談支援センター、荻野地区包括支援センター、市社協、市障がい福祉課、生活福祉課、サービス提供事業所、医療機関の相談室などとの連携はより一層深まっており、荻野地域包括支援センター・睦合地区包括支援センターとの連携では、高齢相談者と障がいが疑われるご家族へのアプローチをワンストップで行う取組みが充実してきたことで、「地域包括ケア社会の実現」に向けて、一定の実績をあげることができたと言えます。令和 2 年度からは、厚木市旧荻野公民館の同じフロアに事務所を構える事でより一層の連携を図っていきます。

また、家庭内暴力、自傷他害、経済的問題、医療的ケア、家族間関係性調整など、複雑な課題解決を求められるケースも多く、対応には、かなりの知識、労力、時間を要するため、職員の負担軽減が課題となってきます。

### (2) 具体的な内容

①相談件数 4,136 件

\*相談方法

訪問・来所・電話・同行等

\*障がい別

知的 1,799 件 精神 1,428 件 身体 1,146 件

その他 739 件

②計画相談 契約数 111 名 計画作成 102 件 モニタリング 204 件

③障害支援区分認定調査 64 件実施

### Ⅲ 家族会活動報告

月に1回、定期的に開催されました。午前中に四役会議（家族会から会長、副会長、会計、書記、園より、園長、支援部長参加）、役員会（四役会議参加者及び各課家族会幹事参加）が開催され、午後には、全体会と課別懇談会が開催されました。

また6月は昼食懇親会、8月はお墓参りと盂蘭盆会法要、10月はラ・フェスタに参加しました。

#### 家族会実施状況

日程		内容	その他
31年4月20日(土)	PM	全体会⇒その後課別懇談会	役員会あり
元年5月18日(土)	AM PM	総会(AM) 昼食懇親会	役員会あり
6月15日(土)	PM	全体会、課別懇談会	
7月27日(土)	PM	AM中墓参り 盂蘭盆法要 PM全体会⇒その後課別懇談会	
8月24日(土)	PM	全体会、その後課別懇談会	役員会あり
9月28日(土)	PM	全体会、その後課別懇談会 開園25周年記念講演会の報告	
10月5日(土)	PM	ラ・フェスタ	
11月16日(土)	PM	全体会・家族会向けアンケート 法人からの報告	役員会あり
12月21日(土)	PM	全体会、その後課別懇談会 第三者委員と個別面談	
2年1月18日(土)	PM	全体会、その後課別懇談会	
2月15日(日)	PM	全体会、その後課別懇談会	役員会あり
3月14日(土)	PM	新型コロナウイルス感染予防で中止	

## IV 後援会活動報告

### <年間事業報告>

- ・2019年4月16日 後援会役員会
  - ① 平成30年度事業実施状況について
  - ② 平成30年度収支決算書について
  - ③ 平成30年度監査報告について
  - ④ 2019年度事業計画(案)について
  - ⑤ 2019年度収支予算(案)について
  - ⑥ その他
- ・2019年 6月26日 第1回デザートテラス(99名参加)
- ・2019年 7月24日 夏まつり2019
- ・2019年 9月 4日 長寿の祝い
- ・2019年10月 5日 ラフェスタ2019
- ・2019年11月13日 第2回デザートテラス(95名参加)
- ・2020年 2月 5日 第3回デザートテラス(88名参加)
- ・2020年 3月13日 役員会開催
- ・喫茶プティ開催(7回)

### <補助事業>

#### 1 行事等各種事業への補助

- ① 行事補助(夏祭り・長寿の祝)
- ② ラフェスタ2019補助
- ③ ボランティア交通費補助
- ④ 喫茶プティへの補助
- ⑤ 25周年記念事業への協賛
  - \* 人権擁護活動への補助なし
  - \* かながわ共同会人権フォーラム中止のため補助なし

#### 2 施設設備への補助

- ① 温冷配膳車リース
- ② 公用車リース

#### 3 後援会の発展及び事業の推進

- ① 会員への各種案内の発送
- ② 窓口にて後援会の入会及び事業内容の案内
- ③ 機関紙ベルデカーレにて入会の案内とご加入者報告

\* 厚木精華園は、地方自治法による指定管理者施設として神奈川県からの指導を受けています。

所管 神奈川県障害サービス課  
電話 045-210-1111 (代表)

令和元年度  
社会福祉法人かながわ共同会  
厚木精華園 事業概要

令和2年6月発行

発行者 社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園

園長 平嶺 一昭

〒243-0201 厚木市上荻野4835-1

電話 046-291-0780

FAX 046-291-0949

[atsugi@kvoidoukai.jp](mailto:atsugi@kvoidoukai.jp)

<http://www.kvoidoukai.jp/atsugi/>

津久井やまゆり園事件  
この悲しみを力に、  
ともに生きる社会を実現します

平成24年7月26日、障害者支援施設である  
国立「津久井やまゆり園」において、大変痛ましい事件が発生しました。  
このような事件が二度と繰り返されないよう、  
私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、  
ともに生きる社会の実現をめざし、  
ここに「ともに生きる社会かたがわ憲章」を定めます。

翔子

翔子「ともに生きる」  
ダウン症の女流書家 金澤翔子

本書の取り組みや金澤翔子さんの向上学習の記録などは、  
こちらから「ともに生きる社会かたがわ」

この憲章は神奈川県と神奈川県議会が共同して策定したものです。

問合せ先 神奈川県議会子どもがいじめられやすい社会推進課 電話 045-210-4061 FAX 045-210-8854



平成28年10月14日 第1版印刷

- 私たちは、あなたを大切にします  
すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく  
暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げる  
あらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、  
累年続けるみで取り組めます

ともに生きる社会  
かながわ憲章



厚木精華園

社会福祉法人 かながわ共同会

〒243-0201 神奈川県厚木市上荻野 4835-1

電話：046-291-0780

FAX：046-291-0949